

TM-248シリーズ

TM-2481

プリンタ ターミナル

(Cバージョン)

取 扱 説 明 書

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

注意事項の表記方法



「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。



「取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。

お知らせ

「取扱いを誤りやすい場合」や「本機を使用するときの一般的なアドバイス」について記述しています。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2002 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

安全にお使いいただくために	2
開梱/点検	2
はじめに	3
1. 特徴	3
2. 仕様	4
3. 各部名称	5
キースイッチの説明	7
4. 準備	8
4-1 ケーブル接続（赤外線通信時は必要ありません）	8
4-2 電源（ACアダプタ・乾電池の使用）	8
4-3 プリンタ用紙のセット（交換）	9
5. 操作方法	10
5-1 操作全体の流れ	10
5-1-1 モデル選択	12
5-2 モデル 1 の操作・設定内容	13
5-2-1 通信の準備	14
5-2-2 データ読込・プリント	16
5-2-3 レポート形式設定	18
5-2-4 時刻／ID設定	20
5-2-5 測定間隔設定	22
5-2-6 データクリア	27
5-2-7 設定内容印字	28
5-3 モデル 2 の操作・設定内容	29
5-3-1 通信の準備	30
5-3-2 レポート形式設定	31
5-3-3 データ読込・プリント	32
5-3-4 時刻設定	33
5-3-5 測定時刻アラーム設定	35
5-3-6 データクリア	37
5-3-7 設定内容印字	38
5-4 モデル 3 の操作内容	39
5-4-1 通信の準備	40
5-4-2 レポート形式設定	41
5-4-3 データ読込・プリント	42
6. 保守	43
6-1 清掃	43
6-2 修理を依頼される前に	43
7. オプション	44
8. 付録	44
外形寸法図	44
印字例	45

安全にお使いいただくために

注 意

本機の使用に際して

- ・必ず、接続する血圧計の取扱説明書をお読みになってからご使用ください。

電池について

- ・プリンターミナルを電池駆動する場合は、アルカリ単三形乾電池を使用してください。それ以外の電池を使用した場合は、プリンターミナルの性能が下がったり、プリンターミナルを損傷したり火災の原因になるおそれがあります。
- ・古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長期間、プリンターミナルをご使用にならない場合、電池をプリンターミナルから外してください。プリンターミナルを損傷する原因となります。

保管場所について

次の場所にはプリンターミナルを保管しないでください。

- ・水やその他の液体がかかる場所
- ・高温／多湿の場所
- ・直射日光が照り付ける場所
- ・振動や衝撃が加わる場所
- ・埃、塩分、硫黄分などのある場所

修理について

サービスマン以外ケースを開けて修理しないでください。保証の対象外になるばかりかプリンターミナルを損傷したり火災の原因になります。修理に関しては、お買い上げいただいた店、または最寄りの弊社営業所・出張所にお問い合わせください。

清掃について

- ・本機が汚れたときは、水や中性洗剤をしみこませた布で軽く拭いてください。

開梱／点検

梱包内容

以下の品が梱包されていることを確認してください。

- ・ 本体
- ・ 感熱紙 ----- 1 ロール
- ・ 通信ケーブル ----- 1 本
- ・ ACアダプタ ----- 1 個
- ・ 取扱説明書 ----- 1 冊

はじめに

この度は、(株) エー・アンド・デイのプリンタ ターミナル TM-2481C をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、TM-2481C について書かれています。プリンタターミナルをご理解いただき、充分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

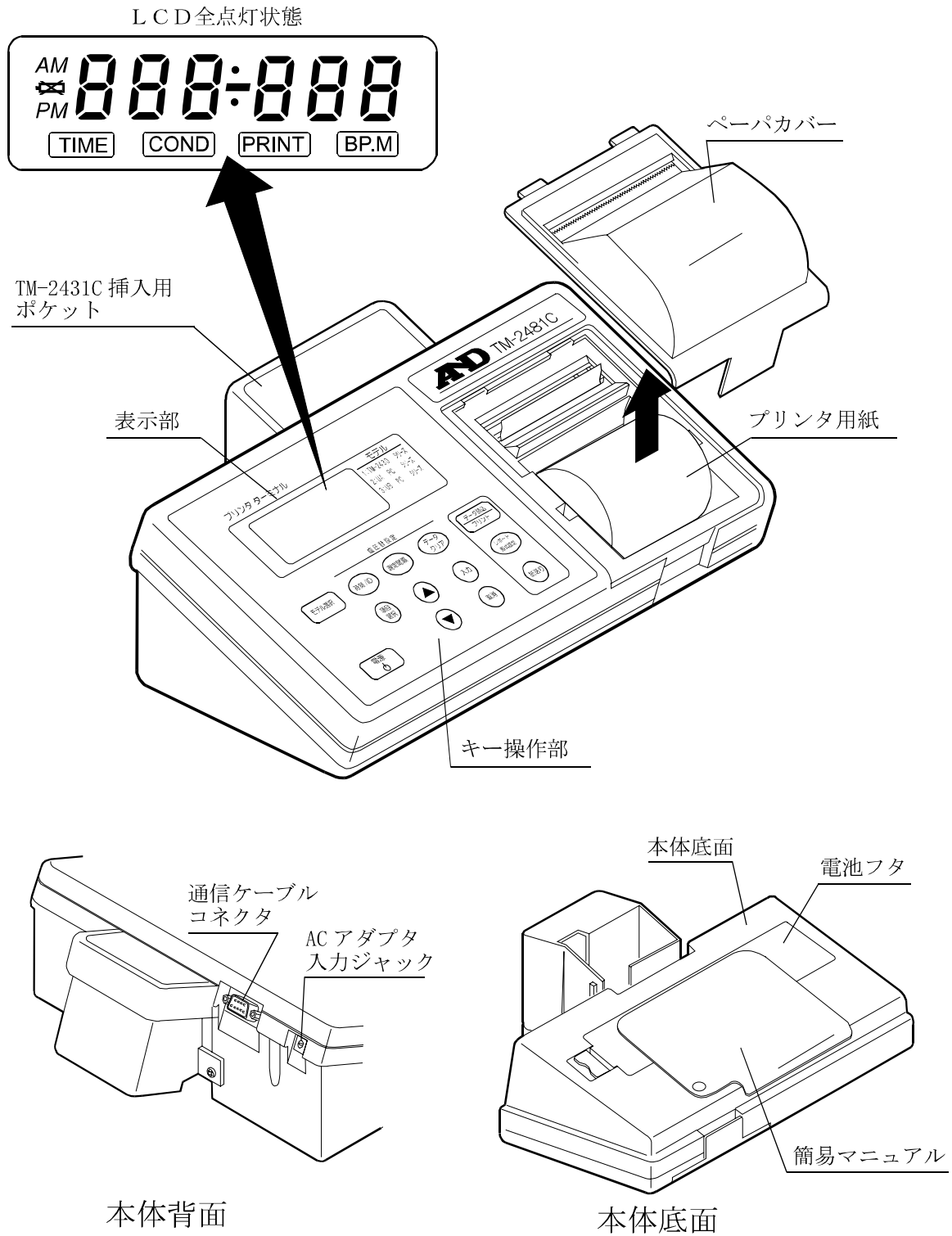
1. 特徴

- 携帯型自動血圧計および、家庭にて使用する弊社製電子血圧計（メモリ・通信機能付き）にも使用できます。
- 測定された血圧処理結果を簡単にプリントできます。
- 赤外線通信機能を持っております。
- 赤外線通信機能付きの携帯型自動血圧計を使用すれば、ケーブルを接続することなしに測定データのやりとりが出来ます。
- 時計機能や自動測定機能を持つ血圧計に対しては、それらの設定も出来ます。
- 接続できる血圧計
 - TM-2430シリーズ（携帯型自動血圧計TM-2431C）
 - ・24時間毎に血圧データ／脈拍データ／圧負荷データを統計処理し、その結果をプリントします。
 - ・24時間毎に血圧データ／脈拍データ／圧負荷データをトレンドグラフとしてプリントします。
 - ・統計処理には、最高血圧／最低血圧／脈拍毎の平均値／標準偏差をプリントします。
 - ・圧負荷データ（PRESSURE LOAD）は、最高血圧／最低血圧のそれぞれについて、任意に設定した値を超えている面積を算出します。（単位 mmHg・h）
 - ・統計処理を行う区分は24時間ブロックを基本にし、その中をインターバル・ブロックおよび任意に設定した起床時間帯／就床時間帯の結果をプリントします。
 - ・通信ケーブルを接続すること無しに、赤外線通信によりデータの読み込み、および設定を行います。
 - UA PCシリーズ（家庭向け上腕血圧計）、UB PCシリーズ（家庭向け手首血圧計）
 - ・1ヶ月毎に血圧データ／脈拍データを統計処理し、その結果をプリントします。
 - ・1ヶ月毎に血圧データ／脈拍データをトレンドグラフとしてプリントします。
 - ・データの時間範囲と無関係に全データを一度に血圧データ／脈拍データを統計処理し、その結果をプリントします。
 - ・データの時間範囲と無関係に全データを一度に血圧データ／脈拍データをトレンドグラフとしてプリントします
 - ・統計処理には、最高血圧／最低血圧／脈拍毎の平均値／標準偏差をプリントします。
 - ・最高血圧／最低血圧の値が、140／90 [mmHg] を超えている個数を算出します。
2ヶ月以上に測定データがある場合は、血圧データをすべてプリントした後に、血圧データのトレンドグラフをすべてプリントし、脈拍データのトレンドグラフをすべてプリントします。

2. 仕様

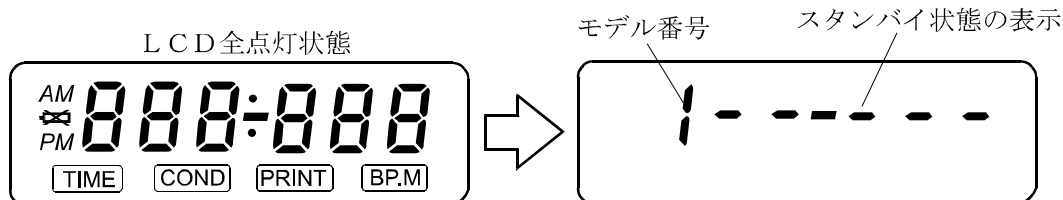
電源	ACアダプタ (専用)  単三形アルカリ乾電池 6本
消費電力	最大 9.6W
表示	L C D
プリンタ	シリアルサーマルプリンタ
プリント速度	約 1行/秒
プリンタ用紙	径 50mm × 幅 58mm
通信機能	シリアル通信 : EIA RS-232C規格準拠 赤外線通信 : IrDA SIR1.0 規格準拠
動作温湿度	+10 ~ +40 °C 85%RH以下 (ただし結露しないこと)
保存温湿度	-10 ~ +55 °C 95%RH以下 (ただし結露しないこと)
外形寸法	約 220mm (W) × 180mm (D) × 90mm (H)
重量	約580g
付属品	プリンタ用紙、通信ケーブル、ACアダプタ

3. 各部名称



●接続モデルの表示

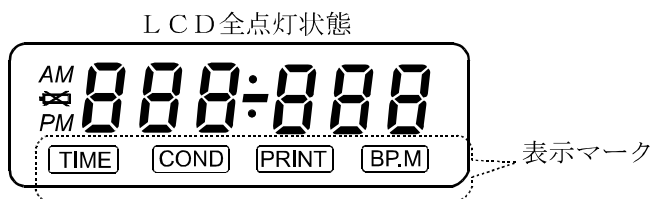
電源スイッチをONすると、下図のようにLCDが全点灯した後、スタンバイ状態の表示になります。この時のLCD表示の先頭の数字が接続する血圧計のモデル番号を表します。モデル番号とモデル名（機種名）の対応は下表の通りです。



モデル番号とモデル名（機種名）の対応

モデル番号	モデル名（機種名）
1	TM-2430 シリーズ
2	UA PC シリーズ
3	UB PC シリーズ

●表示マークの説明



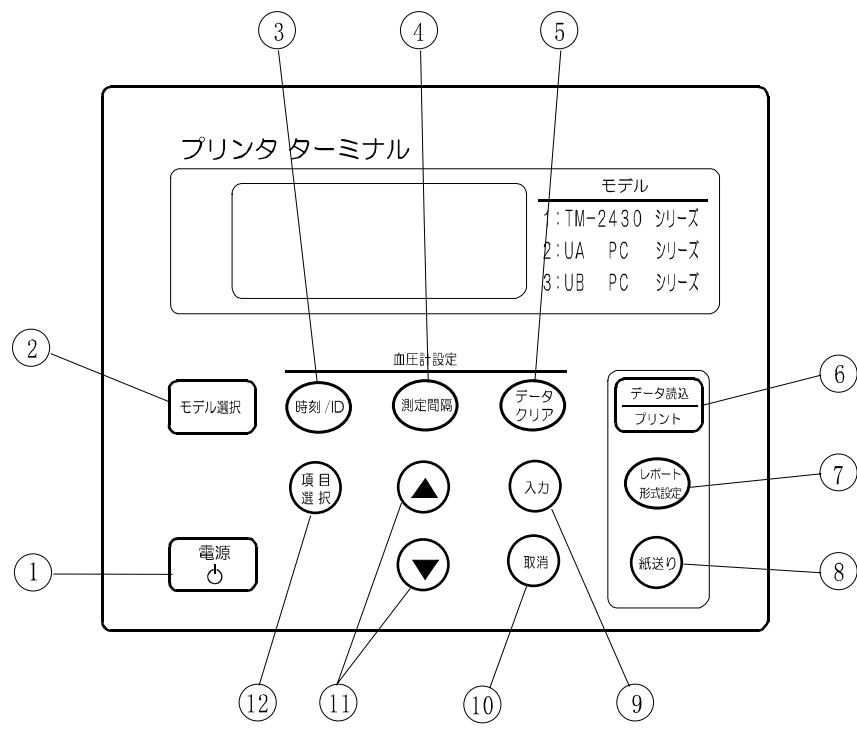
表示マーク	説明
[TIME] 点灯	時刻／IDの設定時に点灯します。（モデル番号1、2対応）
[COND] 点灯	測定間隔の設定時に点灯します。（モデル番号1、2対応）
[PRINT] 点灯	レポート形式の設定時に点灯します。（モデル番号1対応）
[PRINT] 点滅	プリントしているときに点滅します。
[B.P.M] 点灯	測定データが記憶されているときに点灯します。

●電池不足の表示

電池動作時に、電圧が減少しますと“Lb”表示になります。新しい電池に交換するか、ACアダプタを接続してください。



キースイッチの説明



番号	キー	説明
①	電源	電源の ON / OFF を行います。
②	モデル選択	接続する血圧計モデルを選択します。
③	時刻 / ID	時刻 / ID の設定をする状態に入ります。
④	測定間隔	測定間隔の設定をする状態に入ります。
⑤	データクリア	血圧計の測定データを消去します。
⑥	データ読み プリント	血圧計より測定データを読み、記憶されているレポート形式にてプリントします。
⑦	レポート 形式設定	レポート形式の設定をする状態に入ります。
⑧	紙送り	紙送りを行います。
⑨	入力	設定状態のとき、変更した設定値の入力を行います。
⑩	取消	通信、プリント、設定の中止を行います。
⑪	▲ ▼	設定状態のとき、設定値の変更を行います。
⑫	項目 選択	設定状態のとき、項目の変更を行います。

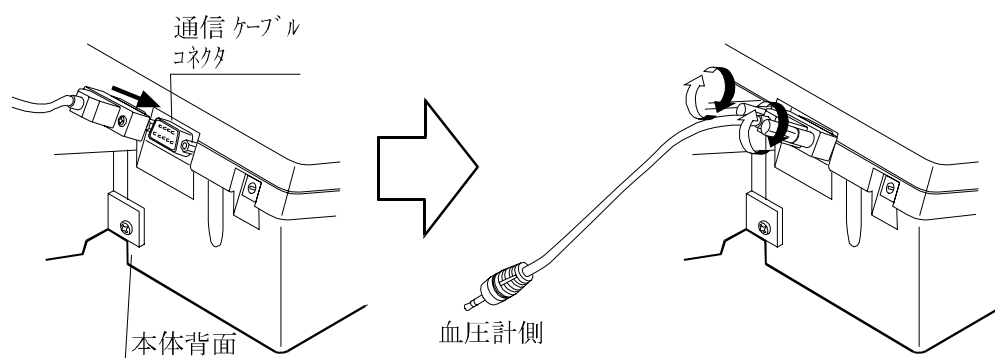
4. 準備

本プリンタのご使用にあたっては、あらかじめ次の準備を行ってください。

4-1 ケーブル接続（赤外線通信時は必要ありません）

下図を参考にプリンタ本体背面の通信ケーブルコネクタに通信ケーブルを差し込み、固定します。
（ケーブルの形状、固定形式は、実際のものとは異なる場合があります。）

※UB PCシリーズを接続する場合はケーブルが異なりますので、別売りの専用通信アダプタを同様に接続してください。

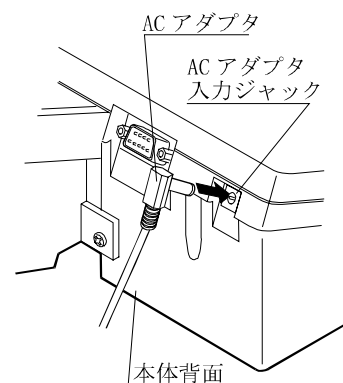


4-2 電源（ACアダプタ・乾電池の使用）

本プリンタは、コンセントの電源（ACアダプタ使用）の使用だけでなく乾電池でも使用できます。
必要に応じて使い分けてください。

●ACアダプタを使用する場合

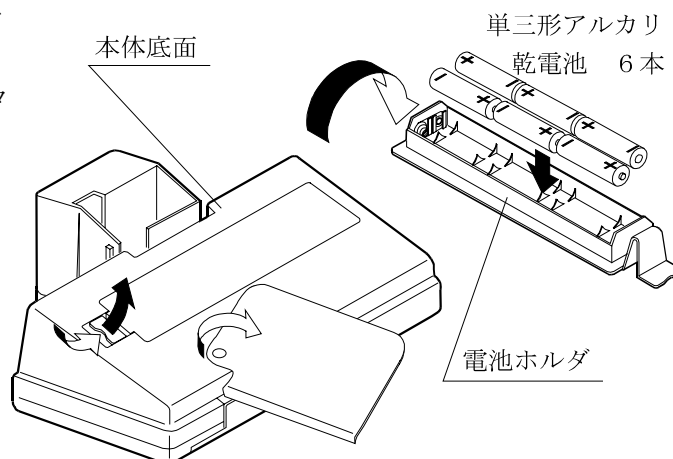
コンセントの電源（ACアダプタ）を使用する場合は、右図を参考にプリンタ背面のACアダプタ入力ジャックに付属のACアダプタを差し込み、もう一方のプラグをコンセントに差し込んでください。



●乾電池を使用する場合

乾電池を使用する場合は、プリンタ本体を裏返して、右図を参考に電池ホルダを本体から外し表示に従って電池をセットしてください。

ACアダプタが差し込まれている場合は、ACアダプタが優先されます。



⚠ 注意

- ・電池はホルダの表示に従って+、-を正しくセットしてください。
- ・電池を交換する場合は、6本まとめて行ってください。

- ・違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長時間使用しない場合は、液漏れの恐れがありますので電池を取り外してください。
- ・電池動作をしている場合、何も操作しない状態で約5分間放置していると、電源が自動的にOFFになります。

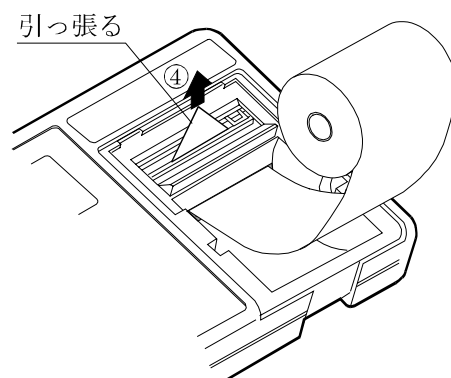
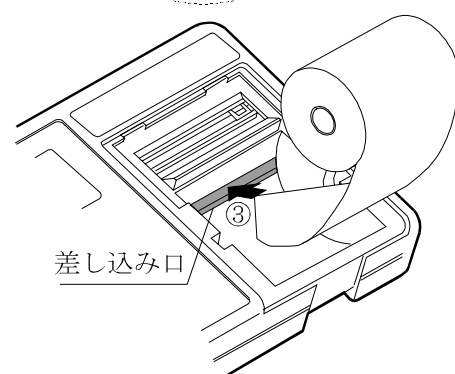
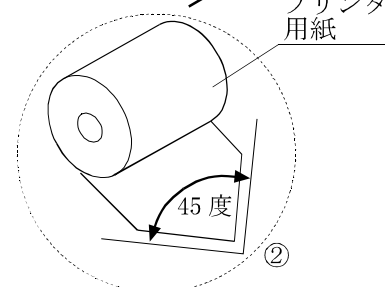
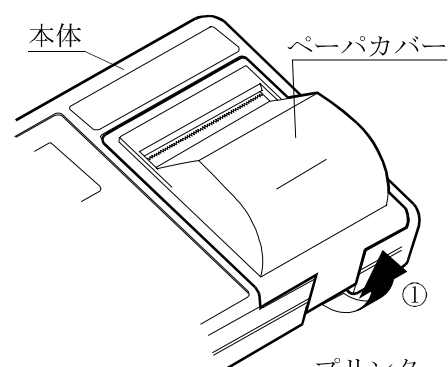
4-3 プリンタ用紙のセット（交換）

お知らせ

- ・本プリンタは、感熱紙タイプです。専用のプリンタ用紙をご使用ください。
- ・残り約60cmになりますと、ピンク色のエンドマークが出てきますので交換をしてください。

プリンタ用紙のセット方法

- ① ペーパーカバーを外します。
- ② プリンタ用紙の先端を右図のように切ります。
- ③ 先端を所定の位置に差込みます。
- ④ 先端がプリンタから出てきましたら、ゆっくり、引っ張ってください。
- ⑤ 先ほど切りました先端部分が、全部見えたら「紙送り」キーを押して、正常に紙送りすることを確認してください。
もし、正常に紙送りしない場合は、もう一度やり直してください。
- ⑥ 正常に紙送りすることが確認できたら、ペーパーカバーにプリンタ用紙を差込み、固定して終了です。

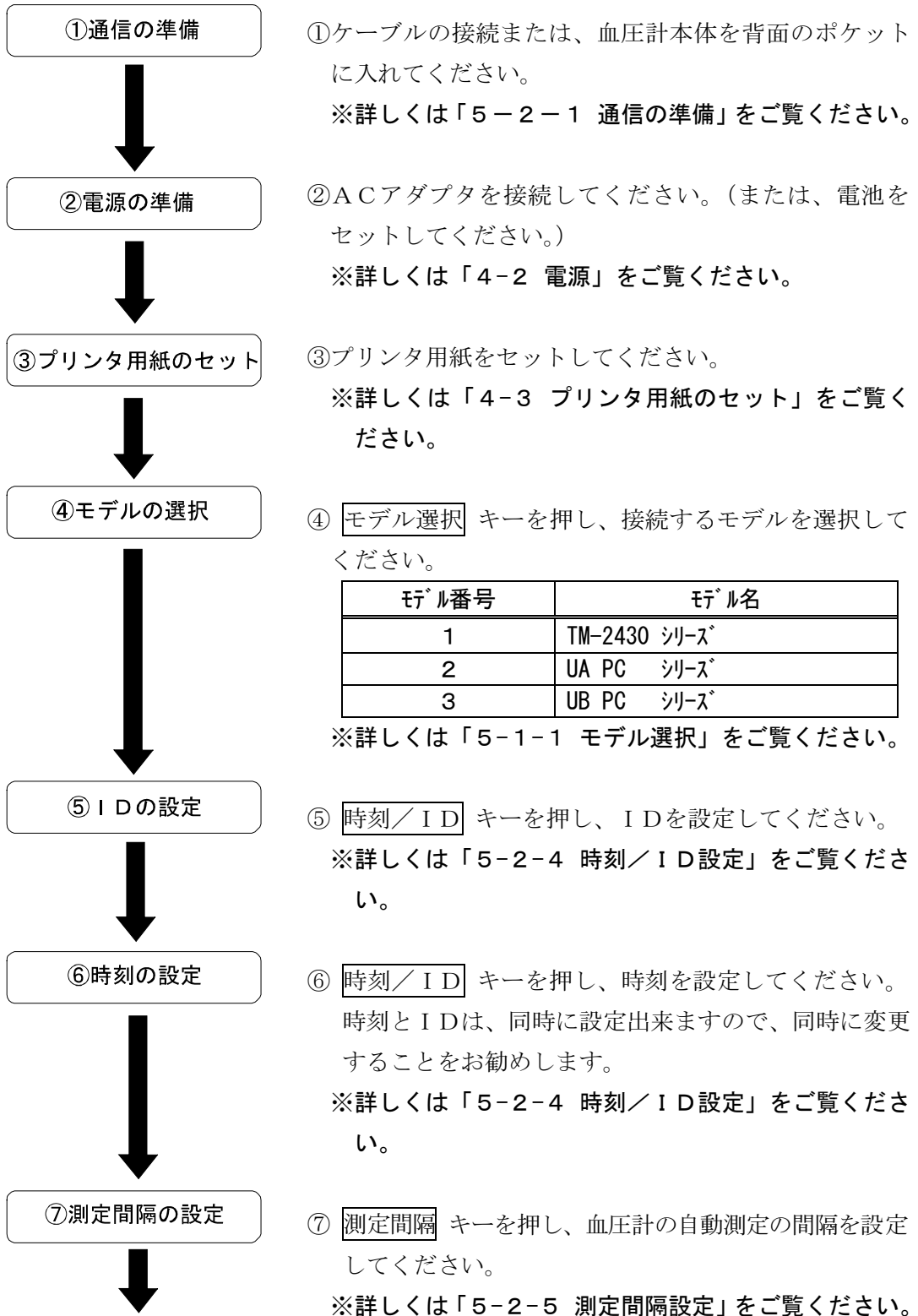


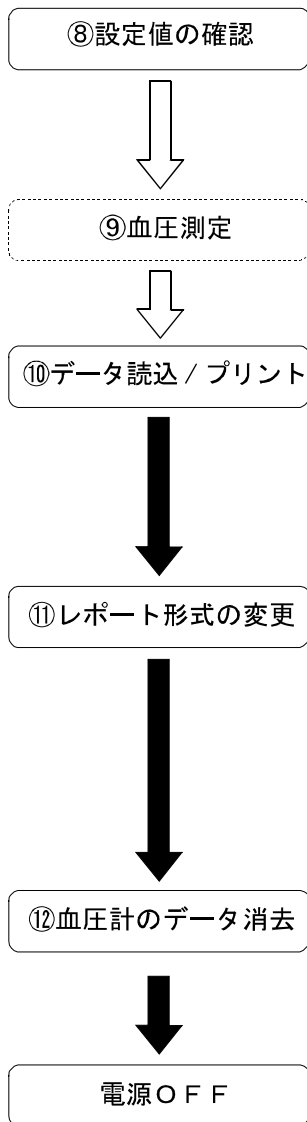
5. 操作方法

5-1 操作全体の流れ

モデル1 (TM-2430 シリーズ) について操作全体の流れを説明します。本機をご使用の際は、この操作全体の流れをよく理解してから行ってください。

他のモデルについても同様の流れですが、詳しくはそれぞれの章の「操作・設定」を参照してください。





⑧ **入力** キーを押してください。血圧計および本機の設定内容のプリントを開始します。
※詳しくは「5-2-7 設定内容印字」をご覧ください。

⑨ 血圧計の使用者が、血圧測定を行います。
※詳しくは各血圧計の取扱説明書をご覧ください。

⑩ **データ読込/プリント** キーを押してください。データ読込した後、自動的にプリントを開始します。
※レポート形式は、前回設定した形式にてプリントされます。

⑪ レポート形式を変更したい時に **レポート形式設定** キーを押し、設定を行います。
※詳しくは「5-2-3 レポート形式設定」をご覧ください。

⑫ 次の血圧測定のために、記憶しているデータを消去します。**データクリア** キーを5秒間押し、データを消去します。
※詳しくは「5-2-6 データクリア」をご覧ください。

お知らせ

- ・ 操作および設定の必要がない場合は、スキップして考えてください。
- ・ 設定の変更がない場合、**⑩データ読込/プリント** と **⑫血圧計のデータ消去** を行うだけで、データ処理をすることができます。

5-1-1 モデル選択

操作全体の流れを十分理解し、本プリンタの準備が出来ましたら（「4. 準備」が終了した状態）、まず初めに接続する血圧計のモデルを選択します。

- ① **電源**キーを押し、電源をONにするとスタンバイ状態となります。
- ② **モデル選択**キーを押し、接続したい血圧計のモデルを選択します。モデル番号と接続する血圧計のモデル名の対応は下表の通りです。

モデル番号 1-----

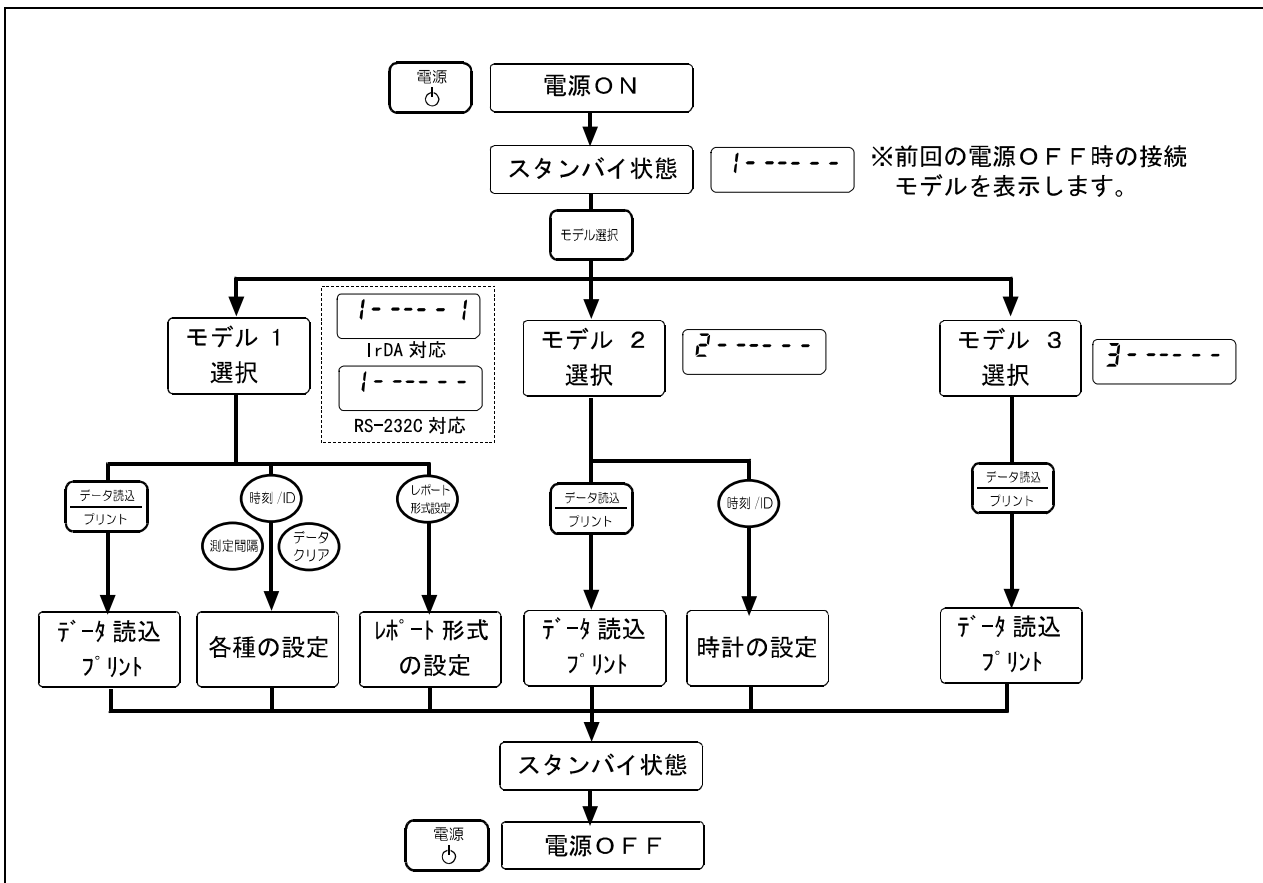
モデル番号	モデル名	参照する章
1	TM-2430 シリーズ	「5-2 モデル1の操作・設定内容」
2	UA PC シリーズ	「5-3 モデル2の操作・設定内容」
3	UB PC シリーズ	「5-4 モデル3の操作内容」

●以降の操作について

接続する血圧計のモデル番号を選択しましたら、以下の操作を行います。詳しい内容については血圧計の機種ごとに異なりますので上表の“参照する章”を参考に行ってください。

- ③血圧計と配線（赤外線通信を除く）をし、血圧計の通信準備をします。
- ④測定データ読み込み、各種の設定、レポート形式の設定等を行います。
- ⑤各動作が終了しますとスタンバイ状態に戻ります。そのまま、④を繰り返すことが可能です。
- ⑥作業終了後、**電源**キーを押すと電源をOFFにして終了となります。

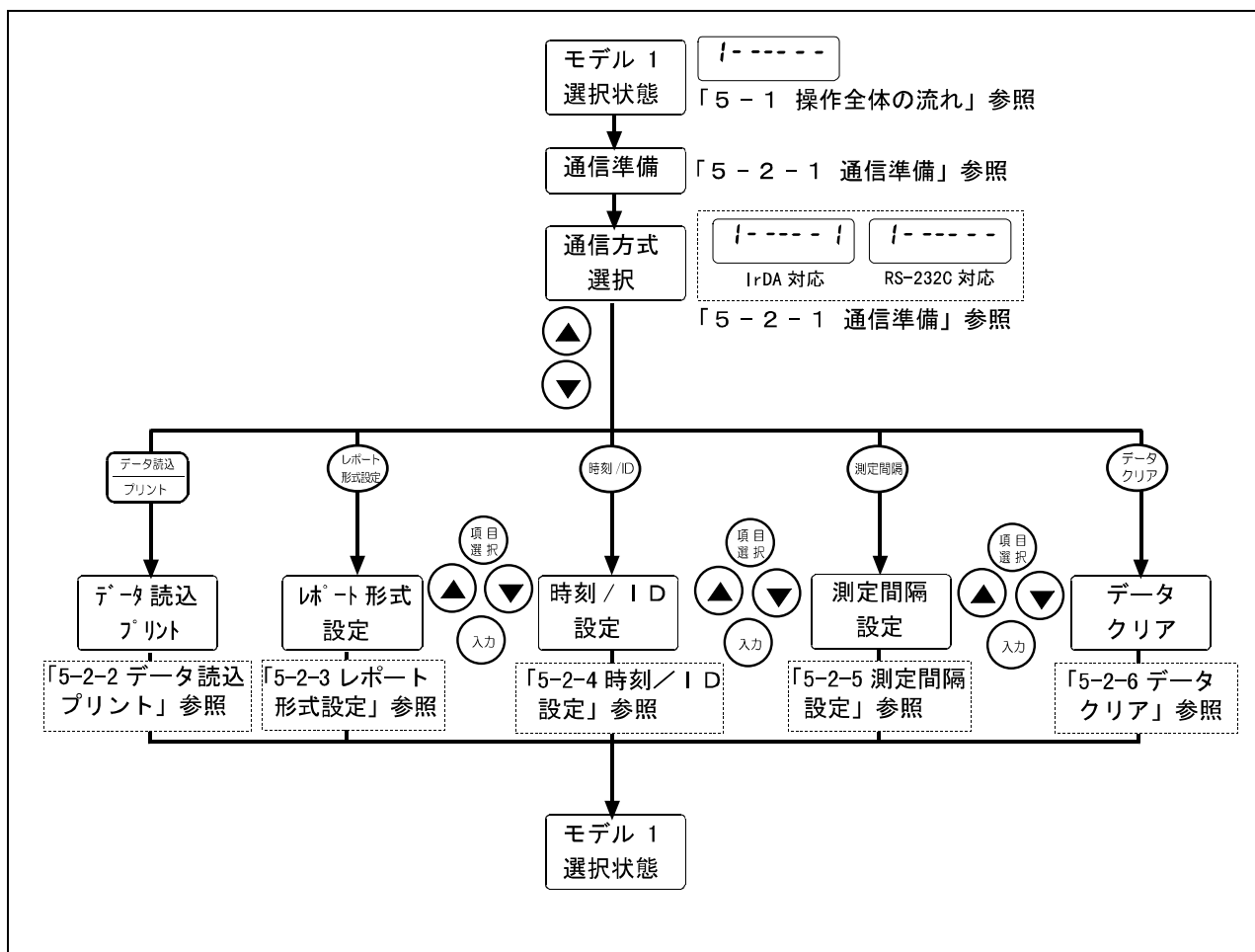
また、操作全体の概要を下図のフローチャートに示します。



5-2 モデル 1 の操作・設定内容

「5-1 操作全体の流れ (5-1-1 モデル選択)」でモデル1を選択した場合、以降の操作概要を下図のフローチャートに示します。

モデル名：TM-2430 シリーズ



“モデル1”を選択した場合、各設定の内容について下表に示します。モデル1では、本機TM-2481のすべての機能を使用できます。詳しい設定方法については、下表の“参照する章”を参考にして設定してください。また、モデル1では、通信方法として「通信ケーブルによる通信」と「赤外線通信」を選択できます。それぞれの内容については、「5-2-1 通信の準備」を参照してください。

機能名称	内 容	参照する章
データ読み込み プリント	測定データの読み込み および 測定データのプリント	「5-2-2 データ読み込みプリント」
レポート形式 設定	測定データのレポートの形式を設定します。	「5-2-3 レポート形式設定」
時刻 / ID 設定	時刻の設定 ID番号の設定 血圧計の測定結果の表示 ON/OFFの設定	「5-2-4 時刻 / ID 設定」
測定間隔 設定	血圧計の自動測定する間隔を設定します。	「5-2-5 測定間隔設定」
データクリア	血圧計の測定データを消去します。	「5-2-6 データクリア」

5-2-1 通信の準備

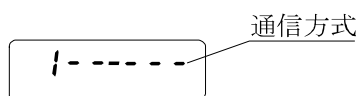
モデル1では、通信方法として「通信ケーブルによる通信」と「赤外線通信」を選択できます。それぞれの内容について以下に示します。

●通信ケーブルによる通信 (RS232C 通信)

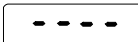
① 本機の背面のコネクタに、付属の通信ケーブルを接続します。(「4. 準備」参照)

② ▲ ▼ キーを押し、通信方式を選択します。

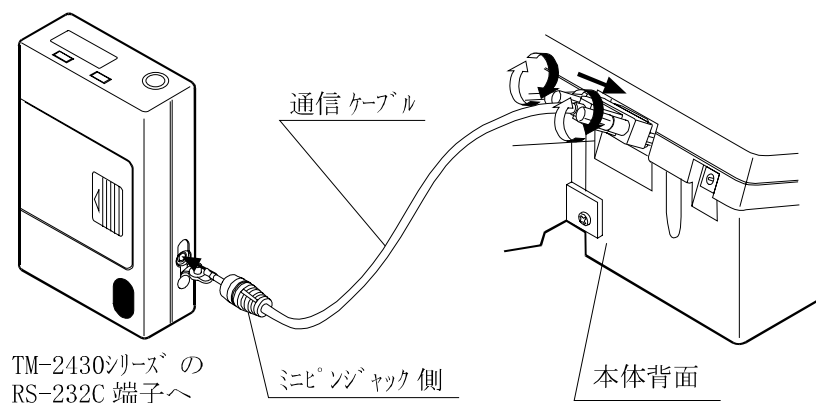
LCD表示の一番右側が「-」になっていれば、通信ケーブルによる通信を選択しています。



③ 付属の通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計(TM-2430 シリーズ)に接続します。

血圧計(TM-2430 シリーズ)の表示が  となります。

④ 表示が変わりますと、ケーブルによる通信準備の完了です。



⚠ 注意

血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置しますと電池をたいへん消耗しますので通信が終了しましたら外してください。

ケーブルを外しますと血圧計は、時計表示に戻ります。

●赤外線による通信 (IrDA 通信)

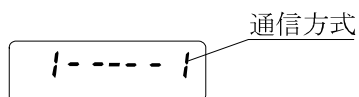
お知らせ

赤外線通信につきましては、赤外線通信機能付きの血圧計(TM-2431/TM-2431C)との間に限られますので、ご注意ください。

・本機の赤外線通信モードへの移行

- ① ▲ ▼ キーを押し、通信方式を選択します。

LCD表示の一番右側が「I」になっていれば、赤外線による通信を選択しています。



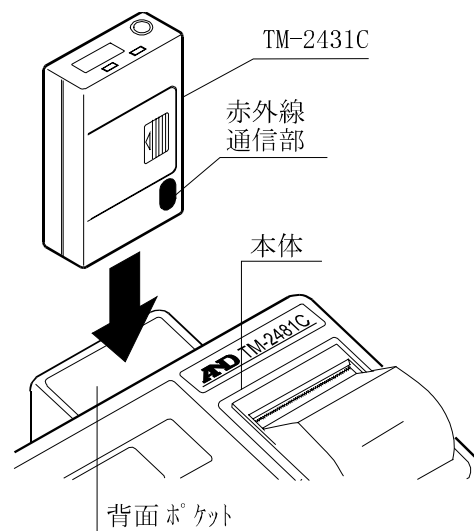
- ② 血圧計(TM-2431C)を TM-2481C の背面のポケットに入れます。

・血圧計 (TM-2431C) の赤外線通信モードへの移行

- ③ 血圧計(TM-2431C)の 自動入/切 スイッチを押します。

- ④ しばらく、押し続けると血圧計の表示が --- I となります。

- ⑤ 表示が変わりますと、赤外線による通信準備の完了です。



⚠ 注意

血圧計を赤外線通信状態 (--- I 表示) のまま放置しますと電池をたいへん消耗しますので通信が終了しましたら、自動入/切 スイッチを押し、赤外線通信状態から抜けてください。

赤外線通信状態から抜けると、血圧計は時計表示に戻ります。

〔通信状態から抜けた時、血圧計は時計表示になります。〕

5-2-2 データ読込・プリント

●内容説明

- ・モデル1では印字（プリント）の形式を選択できます。印字形式の内容については下表の通りです。

印字形式	内 容
0	テーブル+血圧グラフをプリントします。
1	テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフ+圧負荷グラフをプリントします。 （「8. 付録」(TM-2430シリーズの印字例)を参照)
2	テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフをプリントします。
3	テーブル+圧負荷グラフをプリントします。
4	テーブルのみをプリントします。
5	血圧グラフのみをプリントします。
6	脈拍グラフのみをプリントします。
7	圧負荷グラフのみをプリントします。

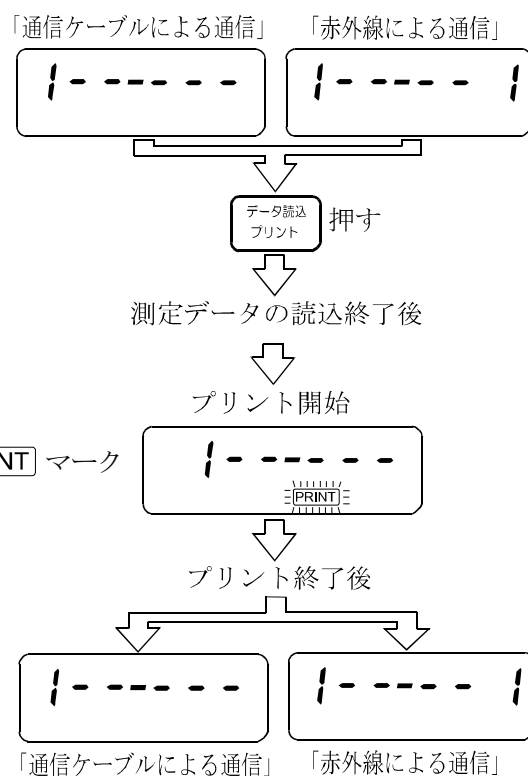
※モデル1の印字形式を含めたレポート形式の設定方法については「5-2-3 レポート形式設定」を参照してください。

- ・**データ読込／プリント**キーを押しますと、血圧計より測定データを読込みます。続いて、設定されているレポート形式にしたがい、測定結果をプリントします。

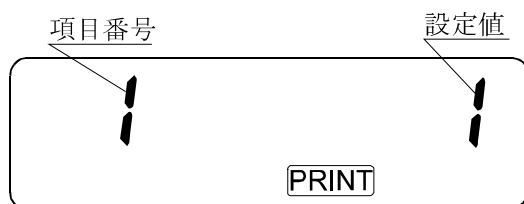
※レポート形式は、電源をOFFにしても記憶しております。

●手順

- ① 通信の準備が出来ているか確認してください。
(「5-2-1 通信の準備」参照)
- ② **データ読み/プリント** キーを押します。
血圧計より測定データを読み込みます。
- ③ つづいて、プリントを開始します。プリント中は **PRINT** マーク
が点滅します。
- ④ プリントが終了すると **PRINT** マークが消灯
します。



5-2-3 レポート形式設定



●内容説明

- ・レポート形式設定は、本機に各条件を設定します。血压計の測定データおよび時刻等は、変化しません。
- ・**レポート形式設定**キーを押しますと、上記の表示となります。
- ・レポート形式の設定中は、**PRINT** マークが点灯します。
- ・レポート形式の設定終了にて設定内容確認プリントを開始します。
- ・レポート形式は、電源をOFFしても記憶しています。
- ・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
1	0 ~ 7	印字形式 0 … テーブル+血压グラフ 1 … テーブル+血压グラフ+脈拍グラフ+圧負荷グラフ 2 … テーブル+血压グラフ+脈拍グラフ 3 … テーブル+圧負荷グラフ 4 … テーブル 5 … 血压グラフ 6 … 脈拍グラフ 7 … 圧負荷グラフ
2	AU, 0~23	処理開始時刻 AU …… 最初の測定データの時刻 (オート) 0~23 … 設定した時刻
3	0 ~ 23	就床時間
4	0 ~ 23	起床時間
5	100 ~ 180	起床時の最高血压閾値 (5mmHg ステップでの設定)
6	50 ~ 130	起床時の最低血压閾値 (5mmHg ステップでの設定)
7	100 ~ 180	就床時の最高血压閾値 (5mmHg ステップでの設定)
8	50 ~ 130	就床時の最低血压閾値 (5mmHg ステップでの設定)
9	—	初期設定 印字形式 0 処理開始時刻 AU 就床時間 22時 起床時間 6時 起床時 最高血压閾値 140 [mmHg] 起床時 最低血压閾値 90 [mmHg] 就床時 最高血压閾値 140 [mmHg] 就床時 最高血压閾値 90 [mmHg]

●設定手順

① 通信準備が終了した状態（「5-2-1 通信の準備」参照）で **レポート形式設定** キーを押します。

② **PRINT** マークが点灯し、項目番号「1」と現在設定されている設定値が表示されます。

③ 設定値を変更する場合は、**▲ ▼** キーを押して設定値を変更してください。

※設定例では項目番号1（印字形式）の設定値を3（テーブル+圧負荷グラフ）に変更しています。

④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押して変更してください。また、設定値を変更する場合は **▲ ▼** キーで変更してください。

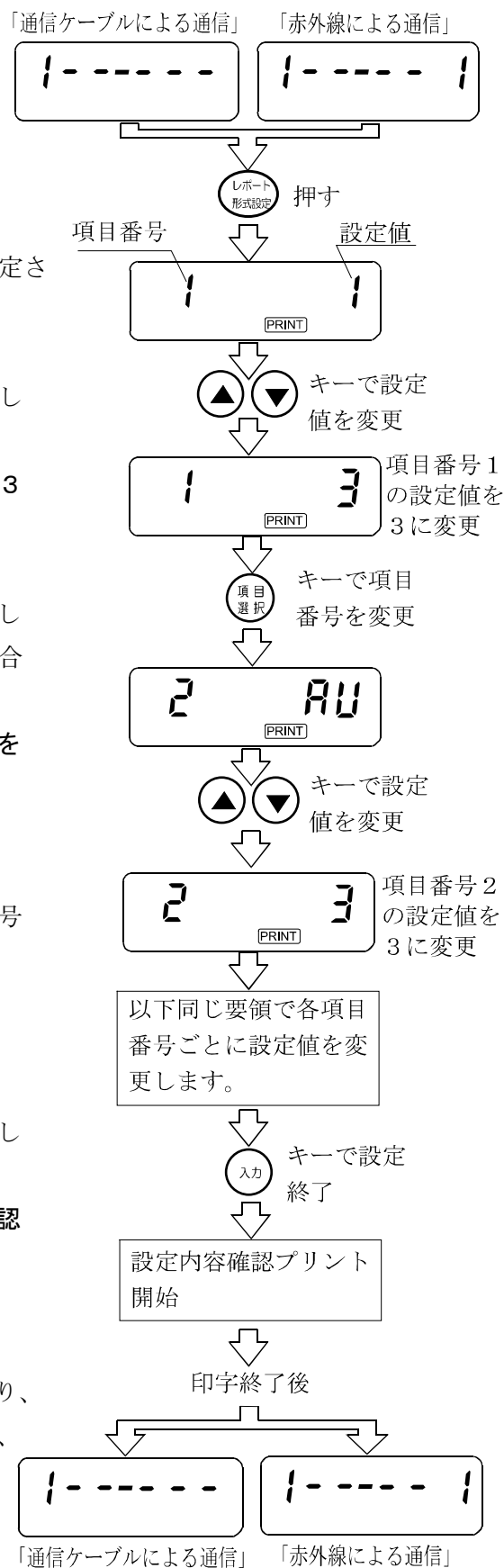
※設定例では、項目番号2（処理開始時刻）を設定値3（3時）に変更しています。

⑤ 変更が必要な場合は、以下同じ要領で各項目番号ごとに設定値を変更してください。

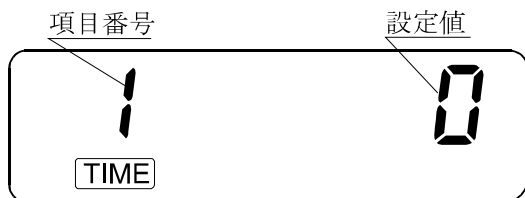
⑥ 変更が終了したら **入力** キーを押して、設定を終了してください。

※設定された内容をプリントしますので、確認してください。

⑦ **入力** キーを押さずに **キャンセル** キーを押すことにより、レポート形式設定を中止します。この場合は、レポート形式は変更されません。



5-2-4 時刻／ID設定



●内容説明

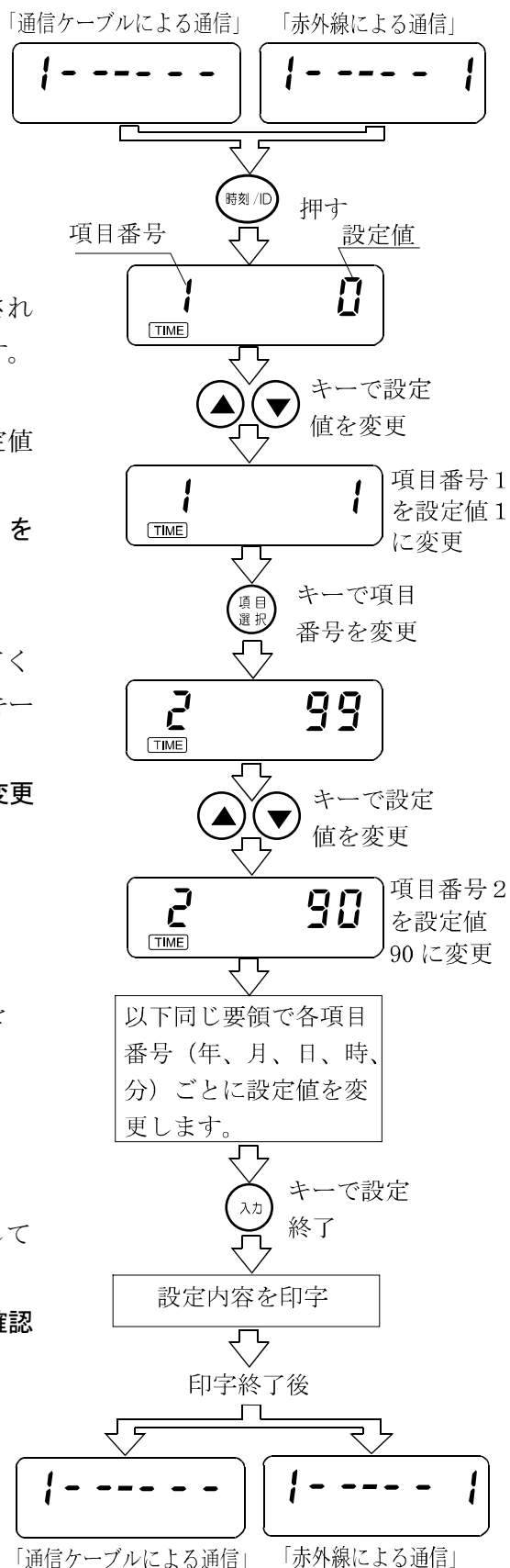
- ・時刻／ID 設定は、血圧計（TM-2430 シリーズ）に各条件を設定します。
- ・**時刻／ID** キーを押しますと、上記の表示となります。
- ・時刻／ID の設定中は、**TIME** マークが点灯します。
- ・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
1	0, 1	表示機能の ON/OFF 0 …… OFF 1 …… ON
2	1 ~ 99	ID 番号
5	1997 ~ 2096	年（西暦 4 桁）
6	1 ~ 12	月
7	1 ~ 31	日（年・月を参照し、設定範囲を自動調整）
8	0 ~ 23	時（24 時間表記）
9	00 ~ 59	分（常に 2 桁表示）

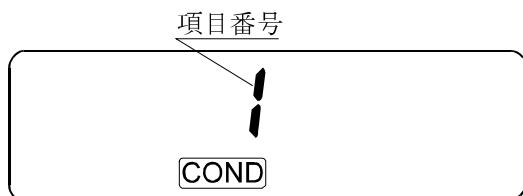
※表示機能のON/OFFについては、血圧計の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

●設定手順

- ① 通信準備が終了した状態（「5-2-1 通信の準備」参照）で **時刻／ID** キーを押します。
- ② **TIME** マークが点灯し、項目番号「1」と接続されている血圧計に設定されている設定値が表示されます。
- ③ 設定値を変更する場合は、**▲ ▼** キーを押して設定値を変更してください。
 ※設定例では、項目番号1（表示機能ON/OFF）を設定値1（ON）に変更しています。
- ④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押してください。また、設定値を変更する場合は **▲ ▼** キーで変更します。
 ※設定例では項目番号2（ID番号）を設定値90に変更しています。
- ⑤ 変更が必要な場合は、以下同じ要領で各項目番号を選択し、年、月、日、時、分の設定値を変更します。
- ⑥ 変更が終了したら **入力** キーを押して、設定を終了してください。
 ※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。
- ⑦ **入力** キーを押さずに **キャンセル** キーを押すことにより、時刻／ID 設定を中止します。この場合は、血圧計の内容は変更されません。



5-2-5 測定間隔設定



●内容説明

- ・測定間隔設定は、血圧計（TM-2430 シリーズ）に自動測定する測定間隔を設定します。
- ・**測定間隔** キーを押しますと、上記の表示となります。
- ・測定間隔の設定中は、**COND** マークが点灯します。
- ・項目番号の説明を下表に示します。

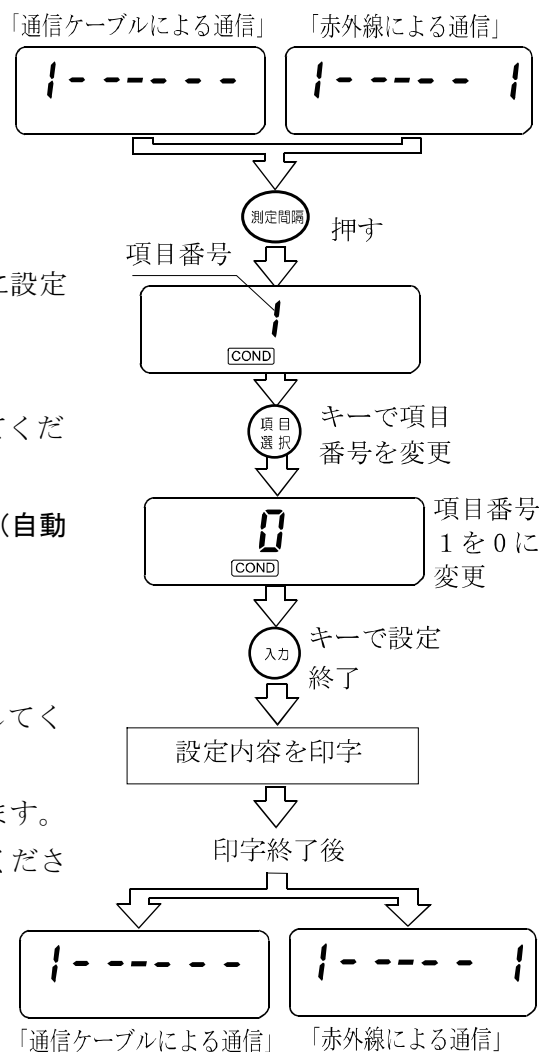
項目番号	設定内容
0	自動測定・モードⅠ ※モードⅠは初期設定値です。 モードⅢの設定がされます。 06:00 ~ 21:59 30分間隔 22:00 ~ 05:59 60分間隔
1	自動測定・モードⅡ 07:00 ~ 21:59 15分間隔 22:00 ~ 06:59 30分間隔
2	自動測定・モードⅢ 「S」マーク消灯時 15分間隔 「S」マーク点灯時 30分間隔
3	自動測定・モードⅣ 最大6ブロックを任意設定 別設定ルーチンに入る。

※ 測定間隔の詳細については、血圧計（TM-2430 シリーズ）の取扱説明書をよくお読みください。

※ 項目番号0は、初期設定値としてモードⅢで測定間隔設定をします。

●設定手順

- ① 通信準備が終了した状態（「5-2-1 通信の準備」参照）で **測定間隔** キーを押します。
 - ② **COND** マーク が点灯し、接続されている血圧計に設定されている項目番号が表示されます。
 - ③ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押してください。
 ※設定例では項目番号 1（自動測定モードⅠ）を 0（自動測定モードⅡ）に設定しています。
 ※自動測定モードⅡは初期設定値です。
 - ④ 変更が終了したら **入力** キーを押し、設定を終了してください。
 （項目番号「3」を選択した場合は、設定が継続します。後述する「自動測定・モードⅢの設定」を参照してください。）
- ※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。
- ⑤ **入力** キーを押さずに **キャンセル** キーを押すことにより、測定間隔設定を中止します。この場合は、血圧計の内容は変更されません。



自動測定・モードⅢ（項目番号3）の設定



●内容説明

- ・測定間隔に「自動測定・モードⅢ」を選択しますと24時間を最大6ブロックに分割し測定間隔を設定することができます。
- ・引き続き、**COND** マークが点灯し上記の表示となります。
- ・項目番号の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
01	0～23	1ブロック開始時刻
02	(注1)	測定間隔
03	0～23	1ブロック終了時刻（2ブロック開始時刻）
04	(注1)	測定間隔
05	0～23	2ブロック終了時刻（3ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
06	(注1)	測定間隔
07	0～23	3ブロック終了時刻（4ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
08	(注1)	測定間隔
09	0～23	4ブロック終了時刻（5ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
10	(注1)	測定間隔
11	0～23	5ブロック終了時刻（6ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
12	(注1)	測定間隔
13	1ブロック 開始時刻	6ブロック終了時刻 ただし、1ブロック開始時刻を強制入力します。

注1： 設定値の範囲は、「OFF, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 120」とします。

●設定手順

① 「5-2-5 の測定間隔設定」で項目番号3を選択して **入力** キーを押し「自動測定・モードⅢ」の設定を行います。1ブロックの開始時刻と測定間隔と終了時刻の設定方法を例に説明します。2ブロック以降も同様に設定してください。

② 項目番号01（1ブロックの開始時刻）が表示されます。開始時刻の設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押し値を変更してください。

※設定例では、項目番号01（1ブロックの開始時刻）の設定値を1（開始時刻1時）に変更しています。

③ **項目選択** キーを押し項目番号02（1ブロックの測定間隔）の表示にします。測定間隔の設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押し値を変更してください。

※設定例では、項目番号02（1ブロックの測定間隔）の設定値を30（30分）に変更しています。

④ **項目選択** キーを押し項目番号03（1ブロックの終了時刻）の表示にします。終了時刻の設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押し値を変更してください。また、1ブロックの終了時刻が自動的に2ブロックの開始時刻となります。

※設定例では、項目番号03（1ブロックの終了時刻）の設定値を22（22時）に変更しています。

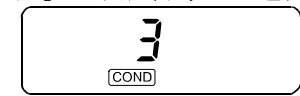
⑤ 2ブロック以降の設定が必要な場合は同じ要領で項目番号を選択して設定値を設定しますが、設定に際しては後述の「●設定にあたっての注意事項」をよくご確認ください。行ってください。

⑥ 変更が終了したら **入力** キーを押し、設定を終了してください。

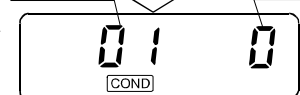
※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。

⑦ **入力** キーを押さずに **キャンセル** キーを押すことにより、測定間隔設定を中止します。この場合は、血圧計の内容は変更されません。

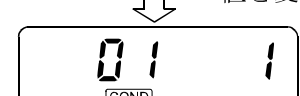
「5-2-5 測定間隔設定」で項目番号3を選択



項目番号 **入力** 押す 設定値

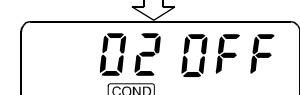


キーで設定値を変更

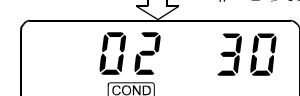


開始時刻を1時に変更

キーで項目番号を変更



キーで設定値を変更



測定間隔を30分に変更

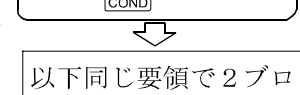
キーで項目番号を変更



キーで設定値を変更

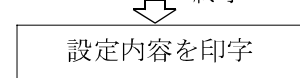


終了時刻を22時に変更

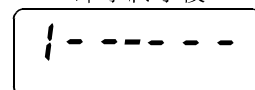


以下同じ要領で2ブロック以降を設定します。

キーで設定終了

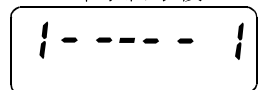


印字終了後



「通信ケーブルによる通信」

印字終了後



「赤外線による通信」

1
ブ
ロ
ッ
ク
設
定

●設定にあたっての注意事項

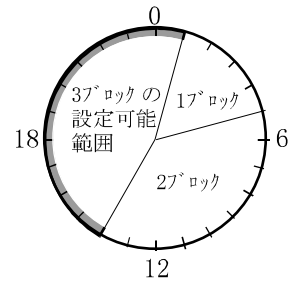
○設定時に前ブロックまでに選択した時間帯は、次ブロックでは設定できません。

[例]

1ブロック 1時～5時

2ブロック 5時～14時

この場合、3ブロックの終了時刻（項目番号「07」）で選択できる設定値は、14時～23時、0時～1時までの範囲となります。



項目番号	設定値	設定内容
01	1	1ブロック開始時刻
02	—	測定間隔
03	5	1ブロック終了時刻（2ブロック開始時刻）
04	—	測定間隔
05	14	2ブロック終了時刻（3ブロック開始時刻）
06	—	測定間隔
07	14～23 0～1	3ブロック終了時刻（4ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。

○6ブロックに満たない場合でも、全ブロックで24時間になりますと次ブロックを設定することは出来ません。

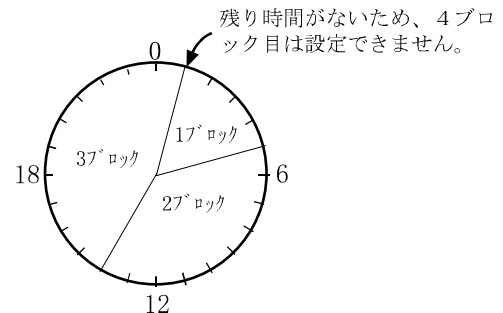
[例]

1ブロック 1時～5時

2ブロック 5時～14時

3ブロック 14時～1時

この場合、項目選択 キーを押しても4ブロックの測定間隔の設定（項目番号「08」）は表示されず、（項目番号「01」）が表示されます。



○測定間隔に「120分」を選択した場合、そのブロックの終了時刻は、ブロックの時間帯が2時間おきになるように表示されます。

[例]

1ブロック開始時刻 1時

1ブロック測定間隔 120分

この場合、1ブロックの終了時刻（項目番号「03」）は、設定値の表示は "1・3・5・7・9・11・13・15・17・19・21・23" となります。

○1時間しかない最終ブロックは、測定間隔に「120分」を表示しません。

※最終ブロックとは、前のブロックまでに23時間分を設定している場合の次のブロックです。

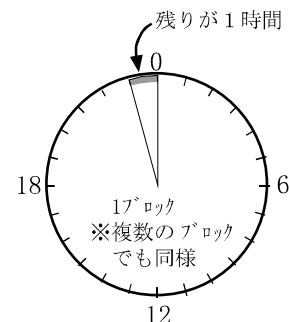
[例]

1ブロック開始時刻 0時

1ブロック測定間隔 60分

1ブロック終了時刻 23時

この場合、2ブロックの測定間隔の設定（項目番号「04」）では、"120" の設定値は表示されません。



5-2-6 データクリア

●内容説明

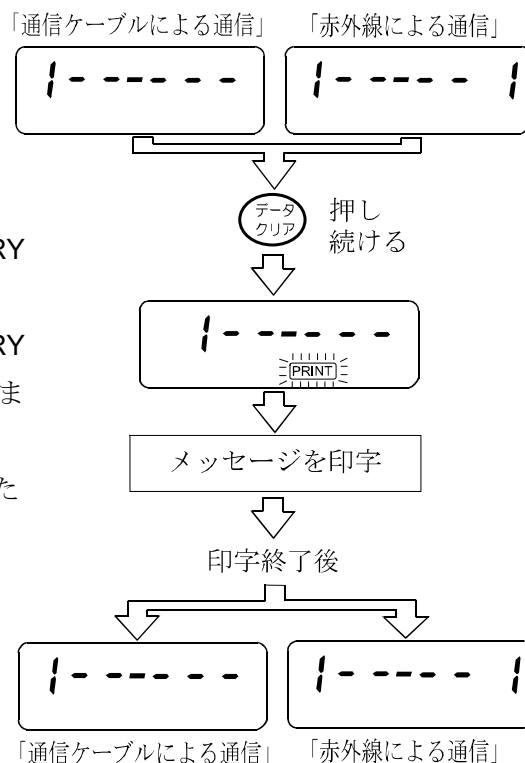
- ・データクリアは、血圧計（TM-2430シリーズ）の測定データを消去します。

●手順

- ① 通信準備が終了した状態（「5-2-1 通信の準備」参照）で「データクリア」キーを押し続けます。1秒毎にブザーが「ピッ」となり、5秒後に長くブザーが鳴ります。
 - ・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEAR」とのメッセージがプリントされます。
 - ・測定データの消去が失敗すると、「MEMORY CLEAR FAILED」とのメッセージがプリントされます。
- ② 「データクリア」キーを5秒間、押し続けなかった場合、測定データは消去されません。

⚠ 注意

- ・血圧計の測定データを消去しますと復帰できませんので、ご注意ください。必ず、測定データの処理を行った後に消去してください。
- ・血圧計を新しい装着者に取り付ける場合、必ず測定データを消去してください。



5-2-7 設定内容印字

●内容説明

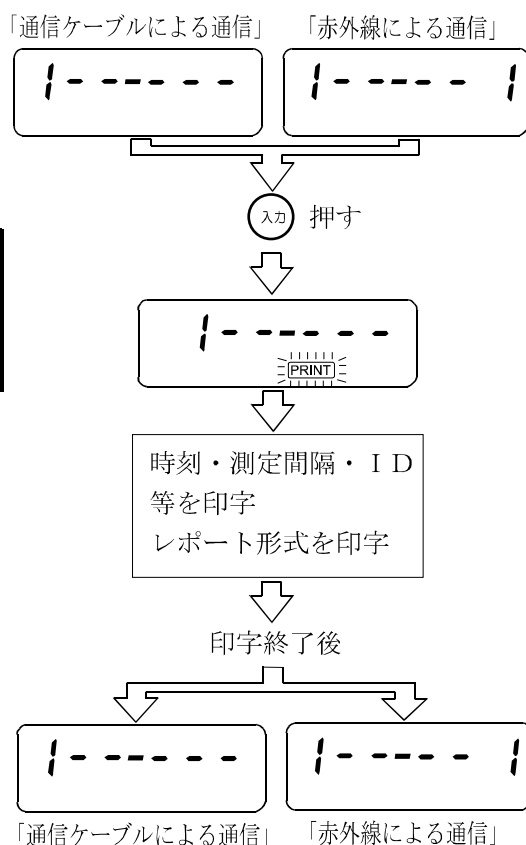
- ・血圧計（TM-2430 シリーズ）に設定されている 時刻、測定間隔、ID等をプリントします。
- ・本機 TM-2481C に設定されているレポート形式をプリントします。

●手順

- ① 通信準備が終了した状態（「5-2-1 通信の準備」参照）で **入力** キーを押します。プリントを開始します。

お知らせ

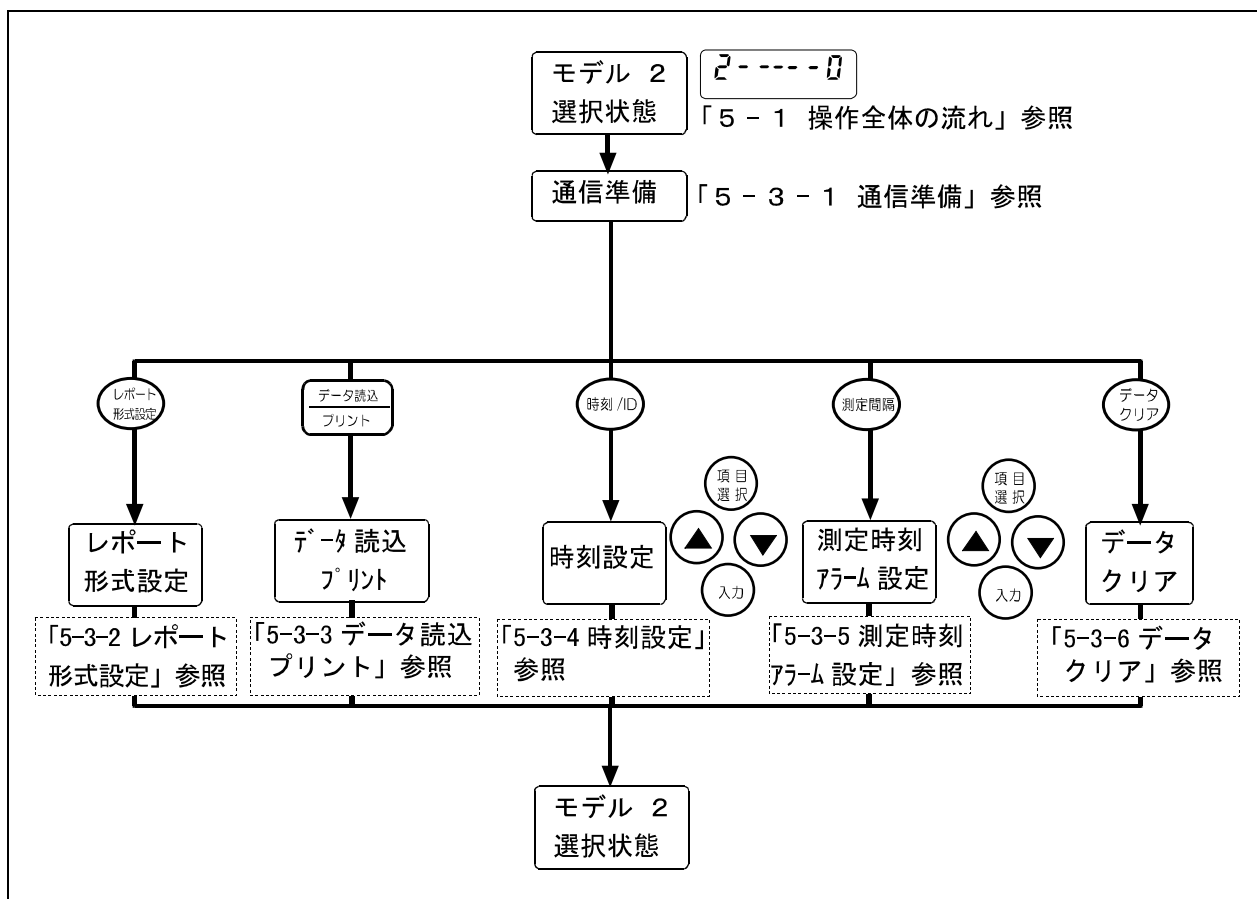
血圧計が接続されていない場合は、レポート形式のみをプリントします。



5-3 モデル 2 の操作・設定内容

「5-1 操作全体の流れ（5-1-1 モデル選択）」でモデル2を選択した場合、以降の操作概要を下記のフローチャートに示します。

モデル名：UA PC シリーズ

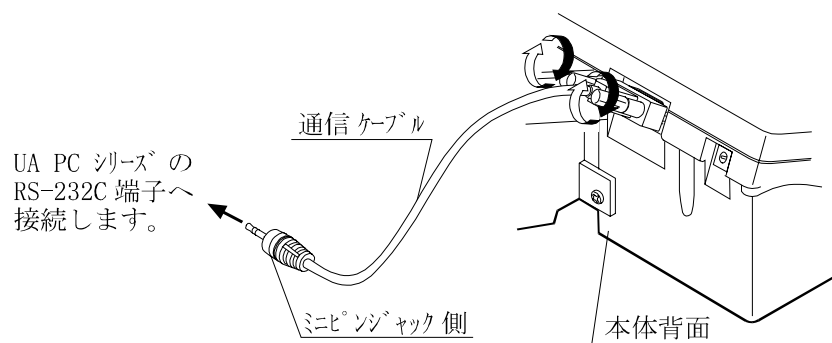


“モデル2”を選択した場合、本機 TM-2481C の使用可能な機能が限定されますので、使用可能な機能と各設定の内容について下表に示します。また、詳しい設定方法については、下表の“参照する章”を参考にして設定してください。

機能名称	内容	参照する章
レポート形式設定	印字（プリント）の形式を設定します。	「5-3-2 レポート形式設定」
データ読込 プリント	測定データの読込 および 測定データのプリント	「5-3-3 データ読込・プリント」
時刻設定	時刻の設定	「5-3-4 時刻設定」
測定時刻アラーム設定	血圧計の測定時刻アラームを設定します。	「5-3-5 測定時刻アラーム設定」
データクリア	血圧計の測定データを消去します。	「5-3-6 データクリア」

5-3-1 通信の準備

- ① 本機の背面のコネクタに、付属の通信ケーブルを接続します。（「4. 準備」参照）
- ② 血圧計が時計を表示しているとき、付属の通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計に接続します。



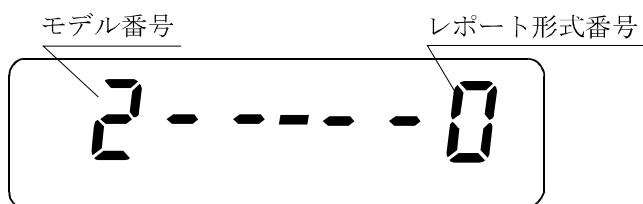
⚠ 注意

血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置しますと電池をたいへん消耗しますので通信が終了しましたら、外してください。ケーブルを外しますと血圧計は、時計表示に戻ります。

お知らせ

血圧計の機種によっては、準備の方法が異なる場合があります。詳しくは血圧計の取扱説明書をご覧ください。

5-3-2 レポート形式設定



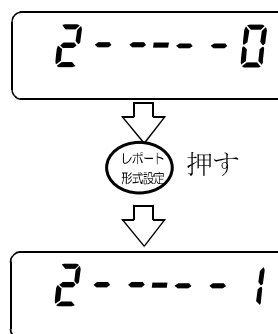
●内容説明

- ・ **レポート形式設定** キーを押しますとモデル番号に続くレポート形式番号が変わります。印字したい内容に合わせ番号を選択してください。
- ・ 選択されたレポート形式番号は、電源をOFFしても記憶しています。
- ・ 一度設定されている場合、本設定操作は不要です。

レポート形式番号	印 字 内 容
0	テーブル+血圧グラフ（時間軸）+脈拍グラフ（時間軸） ・ 1ヶ月毎に処理します。
1	テーブル+血圧・脈拍グラフ（非時間軸） ・ 全データを一括処理します。（グラフ表示はデータの記憶順です。）
2	テーブル

●手順

- ① **レポート形式設定** キーを押します。
レポート形式番号が0, 1, 2と替わります。



- ② 印字したい内容の番号に合わせます。

※選択された番号を記憶します。

電源をOFFしても選択した番号が表示されます。

5-3-3 データ読込・プリント

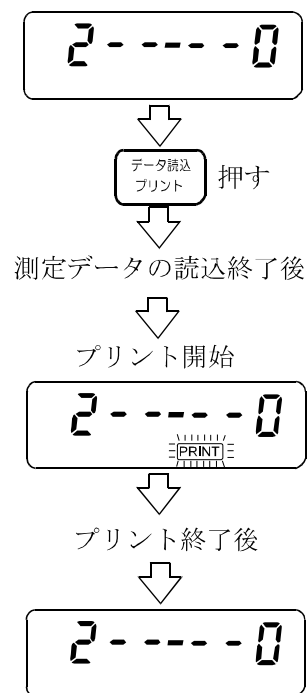
●内容説明

- ・ **データ読込／プリント** キーを押しますと、血圧計より測定データを読込みます。続いて、規定のレポート形式により 測定結果をプリントします。
- ・ 印字（プリント）の形式を選択できます。印字形式の内容については下表の通りです

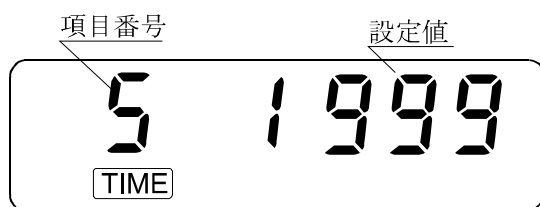
レポート形式番号（印字形式）	印 字 内 容
0	テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフ
1	テーブル+血圧・脈拍グラフ
2	テーブル

●手順

- ① 通信の準備が出来ているか確認してください。（「5-3-1 通信の準備」参照）
- ② **データ読込／プリント** キーを押します。
血圧計より測定データを読込みます。
- ③ つづいて、プリントを開始します。プリント中は **PRINT** マークが点滅します。
- ④ プリントが終了すると、**PRINT** マークが消灯します。



5-3-4 時刻設定



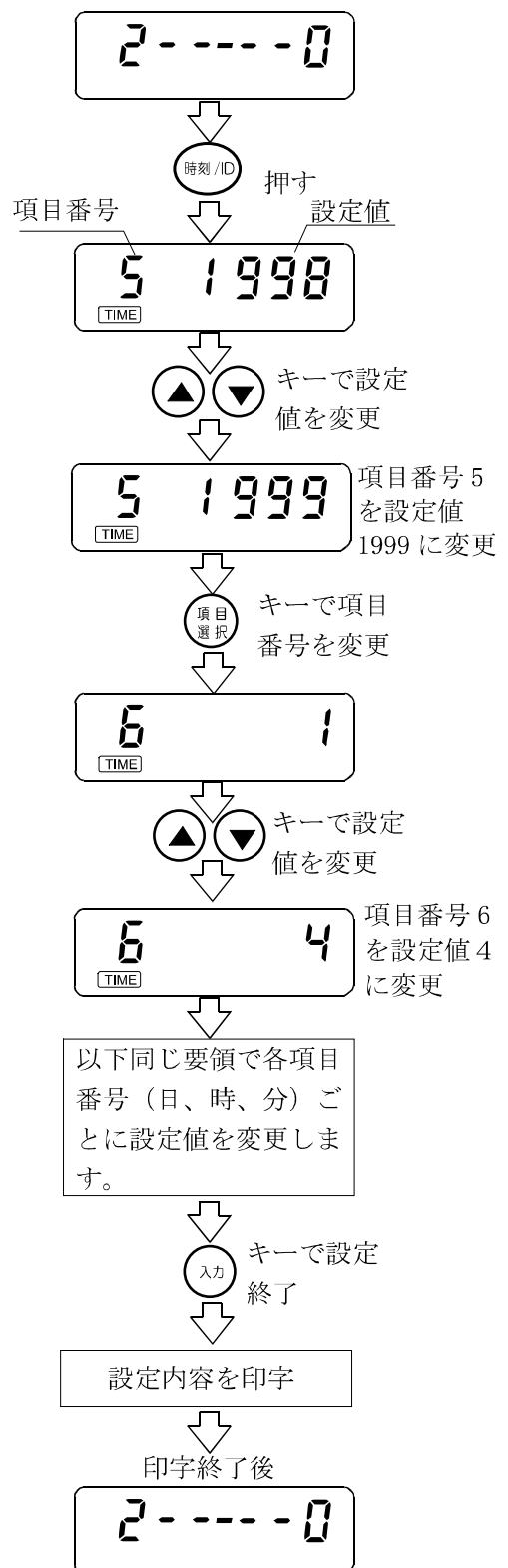
●内容説明

- ・時刻設定は、血圧計（UA PC シリーズ）の時刻を設定します。
- ・**時刻 / ID** キーを押しますと、上記の表示となります。
- ・時刻の設定中は、**TIME** マークが点灯します。
- ・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

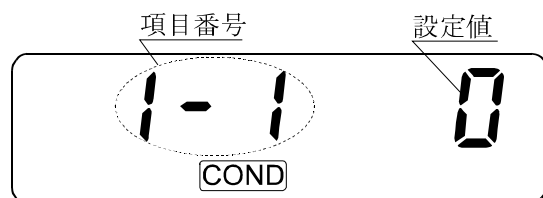
項目番号	設定値の範囲	設定内容
5	1997 ~ 2096	年（西暦4桁）
6	1 ~ 12	月
7	1 ~ 31	日（年・月を参照し、設定範囲を自動調整）
8	0 ~ 23	時（24時間表記）
9	00 ~ 59	分（常に2桁表示）

●設定手順

- ① 通信準備が終了した状態（「5-3-1 通信の準備」参照）で **時刻／ID** キーを押します。
- ② **TIME** マーク が点灯し、項目番号「5」と接続されている血圧計に設定されている設定値が表示されます。
- ③ 設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押して設定値を変更してください。
 ※設定例では、項目番号5（西暦）を設定値1999（1999年）に変更しています。
- ④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押して変更し、設定値を変更する場合は **▲** **▼** キーを押して変更してください。
 ※設定例では、項目番号6（月）を設定値4（4月）に変更しています。
- ⑤ 以降の項目番号（日、時、分）の変更が必要な場合は、同じ要領で各項目番号を選択し、設定値を変更してください。
- ⑥ 変更が終了したら **入力** キーを押し、設定を終了してください。
 ※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。
- ⑦ **入力** キーを押さずに **キャンセル** キーを押すことにより、時刻設定を中止します。この場合は、血圧計の内容は変更されません。



5-3-5 測定時刻アラーム設定



●内容説明

- ・測定時刻アラーム設定は、血圧計に測定時刻アラームを設定します。最大6個の時刻を設定できます。
- ・**測定間隔** キーを押しますと、上記の表示となります。
- ・測定時刻アラームの設定中は、**COND** マークが点灯します。
- ・項目番号の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
1-1	OFF, 0~23	1回目測定時間 (時)
1-2	0~59	1回目測定時間 (分)
2-1	OFF, 0~23	2回目測定時間 (時)
2-2	0~59	2回目測定時間 (分)
3-1	OFF, 0~23	3回目測定時間 (時)
3-2	0~59	3回目測定時間 (分)
4-1	OFF, 0~23	4回目測定時間 (時)
4-2	0~59	4回目測定時間 (分)
5-1	OFF, 0~23	5回目測定時間 (時)
5-2	0~59	5回目測定時間 (分)
6-1	OFF, 0~23	6回目測定時間 (時)
6-2	0~59	6回目測定時間 (分)

※ 測定時刻アラームの詳細については、血圧計の取扱説明書をよくお読みください。

●設定手順

① 通信準備が終了した状態（「5-3-1 通信の準備」参照）で **測定間隔** キーを押します。

② **COND** マーク が点灯し、接続されている血圧計に設定されている1回目の測定時間の時刻情報が表示されます。

③ 設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押して設定値を変更してください。

※設定例では、項目番号1（1回目の測定時間（時））を設定値10（10時）に設定しています。

④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押してください。設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーで変更してください。

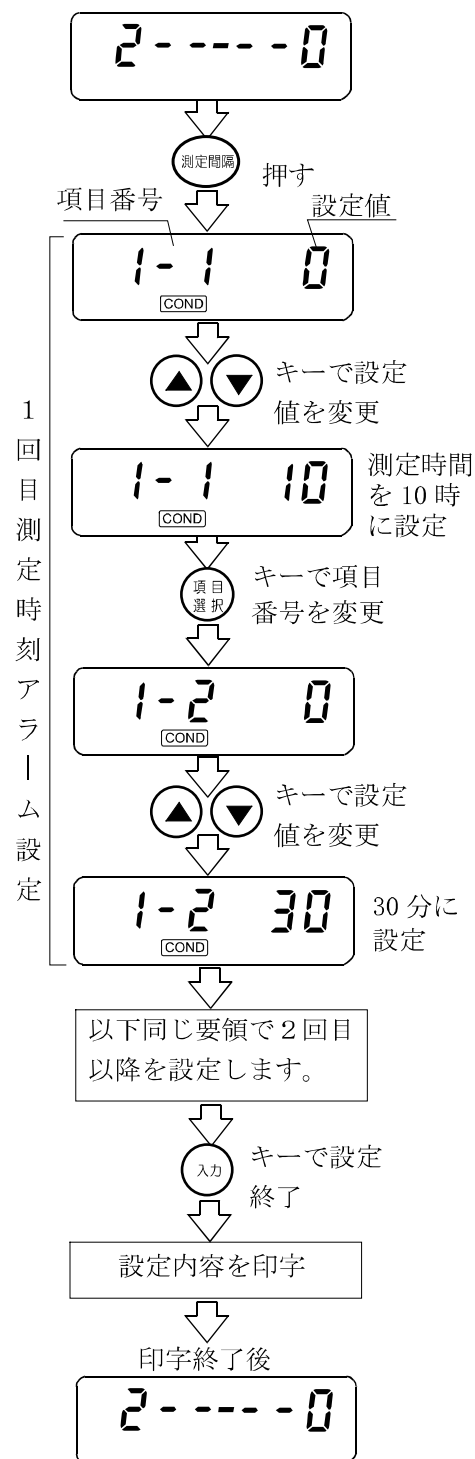
※設定例では、項目番号2（1回目の測定時間（分））を設定値30（30分）に設定しています。

⑤ 2回目以降の測定時刻アラームの変更が必要な場合は、同じ要領で各項目番号を選択し、時・分の設定値を設定してください。

⑥ 変更が終了したら **入力** キーを押して、設定を終了してください。

※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。

⑦ **入力** キーを押さずに **キャンセル** キーを押すことにより、測定時刻アラーム設定を中止します。この場合は、血圧計の内容は変更されません。



5-3-6 データクリア

●内容説明

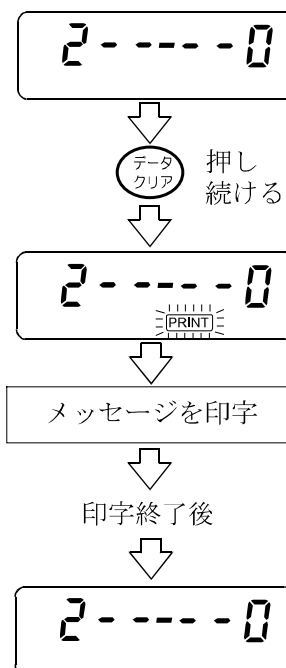
- ・データクリアは、血圧計の測定データを消去します。

●手順

- ① 通信準備が終了した状態（「5-3-1 通信の準備」参照）で、**データクリア** キーを押し続けます。1秒毎にブザーが「ピッ」となり、5秒後に長くブザーが鳴ります。
 - ・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEAR」とのメッセージがプリントされます。
 - ・測定データの消去が失敗すると、「MEMORY CLEAR FAILED」とのメッセージがプリントされます。
- ② **データクリア** キーを5秒間、押し続けなかった場合、測定データは消去されません。

⚠ 注意

血圧計の測定データを消去しますと復帰できませんので、ご注意ください。必ず測定データの処理を行った後に消去してください。



5-3-7 設定内容印字

●内容説明

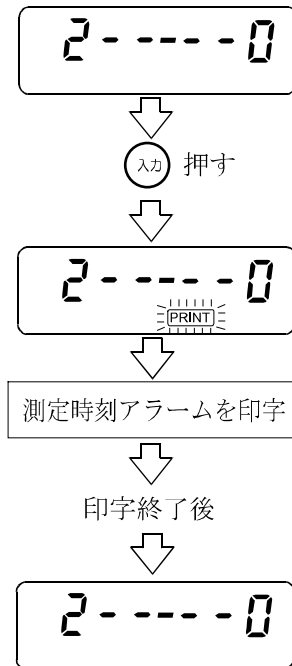
- ・ 血圧計に設定されている 測定時刻アラームをプリントします。

●手順

- ① 通信準備が終了した状態（「5-3-1 通信の準備」参照）で、「入力」キーを押します。プリントを開始します。

お知らせ

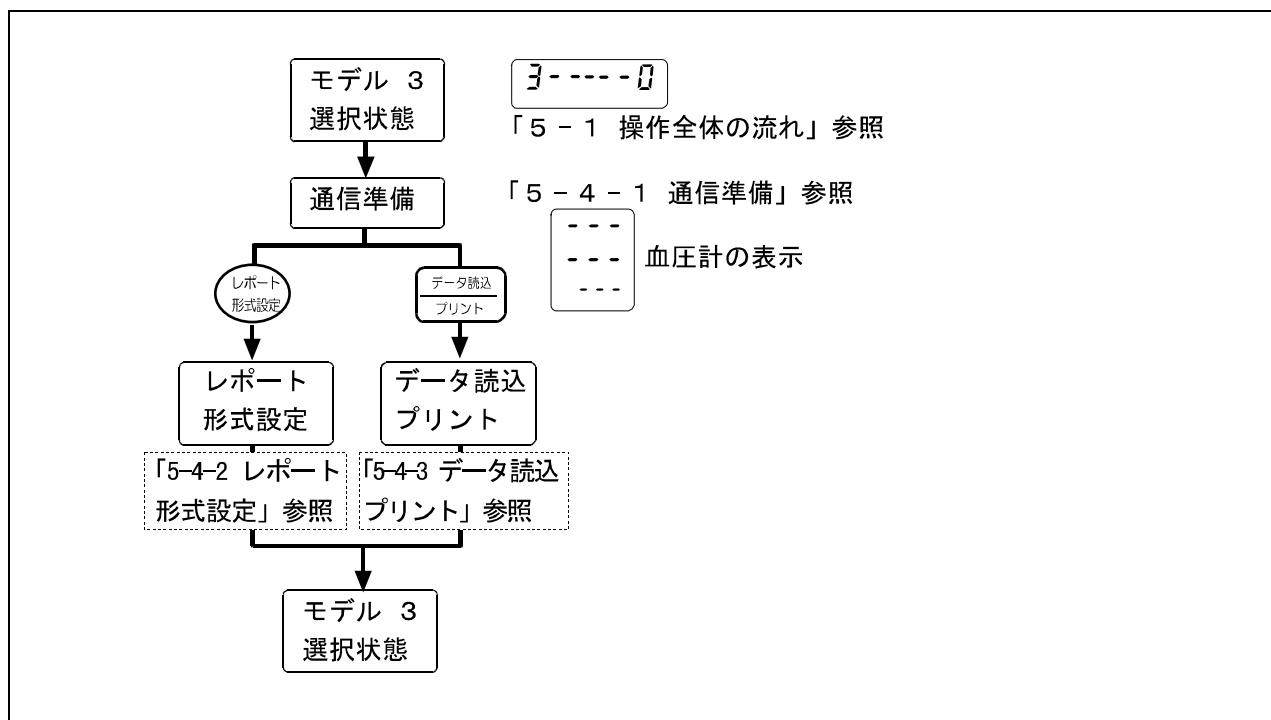
血圧計が接続されていない場合は、プリントされません。



5-4 モデル 3 の操作内容

「5-1 操作全体の流れ（5-1-1 モデル選択）」でモデル3を選択した場合、以降の操作概要を下図のフローチャートに示します。

モデル名：UB PC シリーズ



“モデル 3” を選択した場合、本機の使用可能な機能が限定されますので、使用可能な機能と操作の内容について下表に示します。また、詳しい操作方法については、下表の“参照する章”を参考にして操作してください。

機能名称	内 容	参照する章
レポート形式設定	印字（プリント）の形式を設定します。	「5-4-2 レポート形式設定」
データ読込プリント	測定データの読込 および 測定データのプリント	「5-4-3 データ読込プリント」

- ・モデル3は、片方向の通信機能しかありません。血圧計の時刻、および測定データの消去は、血圧計側にて行ってください。血圧計（UB PCシリーズ）の取扱説明書を良くお読みになってから使用してください。
- ・モデル3では、別売の専用通信アダプタが必要です。

⚠ 注 意

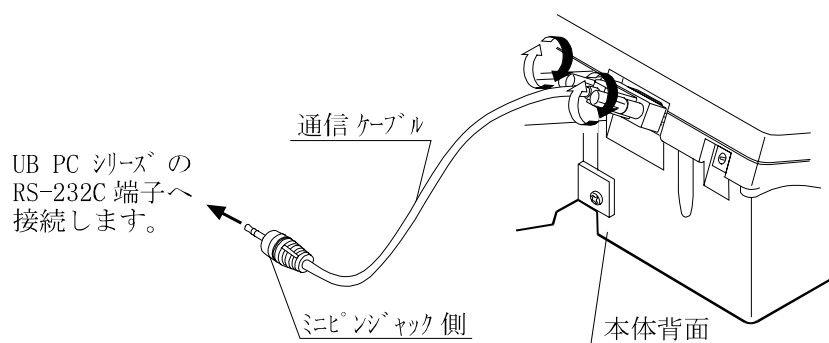
血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置しますと電池をたいへん消耗しますので通信が終了しましたら、外してください。ケーブルを外しますと血圧計は、時計表示に戻ります。

5-4-1 通信の準備

- ① 本機の背面のコネクタに、別売の専用通信アダプタを接続します。(「4. 準備」参照)
- ② 別売の専用通信アダプタのミニピンジャック側を血圧計(UB PC シリーズ)に接続します。
- ③ 血圧計の表示が、

 になります。

- ④ 表示が変わりますと通信準備の完了です。



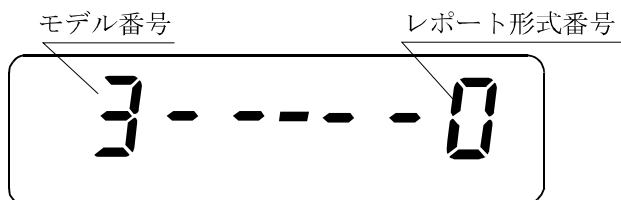
⚠ 注意

血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置しますと電池をたいへん消耗しますので通信が終了しましたら、外してください。ケーブルを外しますと血圧計は、時計表示に戻ります。

お知らせ

血圧計の機種によっては、準備の方法が異なる場合があります。詳しくは血圧計の取扱説明書をご覧ください。

5-4-2 レポート形式設定



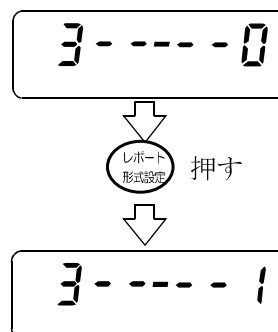
●内容説明

- ・ **レポート形式設定** キーを押しますとモデル番号に続くレポート形式番号が変わります。印字したい内容に合わせ番号を選択してください。
- ・ 選択されたレポート形式番号は、電源をOFFしても記憶しています。
- ・ 一度設定されている場合、本設定操作は不要です。

レポート形式番号	印 字 内 容
0	テーブル+血圧グラフ（時間軸）+脈拍グラフ（時間軸） ・ 1ヶ月毎に処理します。
1	テーブル+血圧・脈拍グラフ（非時間軸） ・ 全データを一括処理します。（グラフ表示はデータの記憶順です。）
2	テーブル

●手順

- ① **レポート形式設定** キーを押します。
レポート形式番号が0, 1, 2と替わります。



- ② 印字したい内容の番号に合わせます。

※選択された番号を記憶します。

電源をOFFしても選択した番号が表示されます。

5-4-3 データ読込・プリント

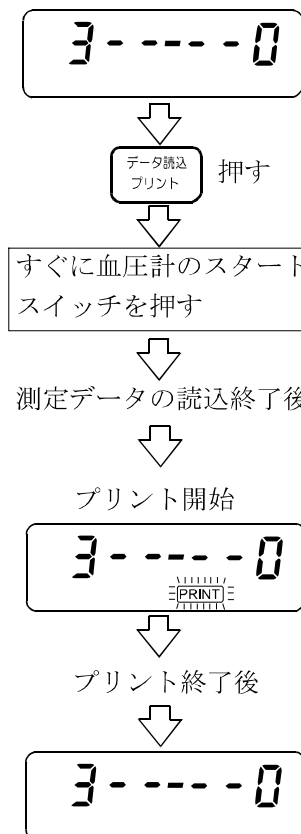
●内容説明

- ・ **データ読込／プリント** キーを押します、すぐに血圧計のスタートスイッチを押してください。血圧計より測定データを読込みます。続いて、規定のレポート形式により 測定結果をプリントします。
- ・ 印字（プリント）の形式を選択できます。印字形式の内容については下表の通りです

レポート形式番号（印字形式）	印 字 内 容
0	テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフ（時間軸）
1	テーブル+血圧・脈拍グラフ（非時間軸）
2	テーブル

●手順

- ① 通信の準備が出来ているか確認してください。（「5-4-1 通信の準備」参照）
- ② **データ読込／プリント** キーを押します。本機が、通信待機状態になります。
- ③ すぐに血圧計のスタートスイッチを押してください。血圧計より測定データが送信されます。
- ④ つづいて、プリントを開始します。**PRINT** マークが点滅します。
- ⑤ プリントが終了すると **PRINT** マークが消灯します。



6. 保守

6-1 清掃

- ・清掃の際は、電源を切った後、ACアダプタを本体から外して行ってください。また、電池をご使用の場合は、電源を切った後、電池を抜いてから行ってください。
- ・乾いた布で乾拭きしてください。
- ・汚れがひどいときは中性洗剤を含ませ、よく搾った布で清掃してください。
- ・本機は防水構造ではありません。水をかけたり、水につけての清掃を行わないでください。
- ・シンナー等の有機溶剤を使用して清掃しないでください。

6-2 修理を依頼される前に

- ・ケースを開けないでください。修理はサービスマン以外には行わないでください。機器を損傷したり、火災の原因になります。
- ・故障かな？と思われる前に、本体のLCDに表示されるエラー番号と下表の内容を照らし合わせて解決を試みてください。それでもだめな場合は、最寄りの営業所・出張所にお問い合わせください。

お知らせ

エラーが表示された場合、電源を一度OFFにしませんと、再度、動作を開始しません。電源を入れ直してください。

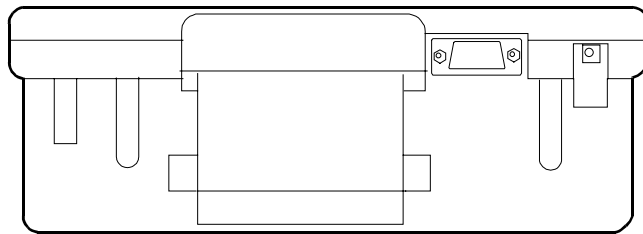
エラー番号	エラー内容	トラブル発生原因 または トラブル解決方法
E01	メモリ エラー	・ACアダプタおよび電池を外し、もう一度、差し込んでください。 電源をONにしてください。 エラー表示が解消されない場合は、修理にお出してください。
E02		
E11	通信 エラー	・通信ケーブルは、正しく接続されていますか？ ・接続している血圧計と選択しているモデルは、合っていますか？ ・通信方式は、正しいですか？（モデル1の場合） ・通信の準備は、正しく出来ていますか？（モデルにより異なります。）
E12	赤外線通信 デバイスのエラー	・ACアダプタおよび電池を外し、もう一度、差し込んでください。 電源をONにしてください。 エラー表示が解消されない場合は、修理にお出してください。
E21	紙づまり エラー	・紙は詰まっていますか？

7. オプション

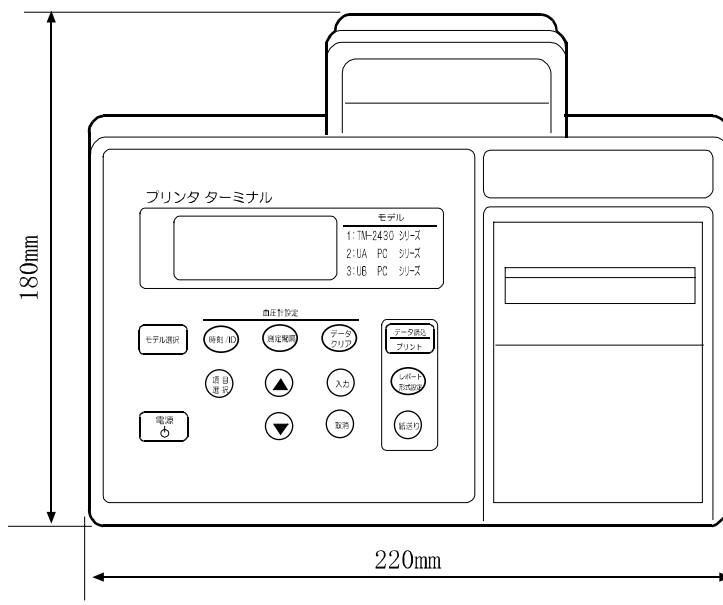
品名	オーダーコード
プリンタ用紙 (5個入り)	AX-PP147-S
通信ケーブル (モデル1、2用) ※付属ケーブルと同じ物です。	AX-KO1502

8. 付録

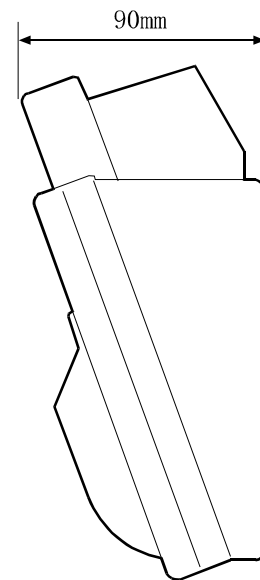
●外形寸法図



背面



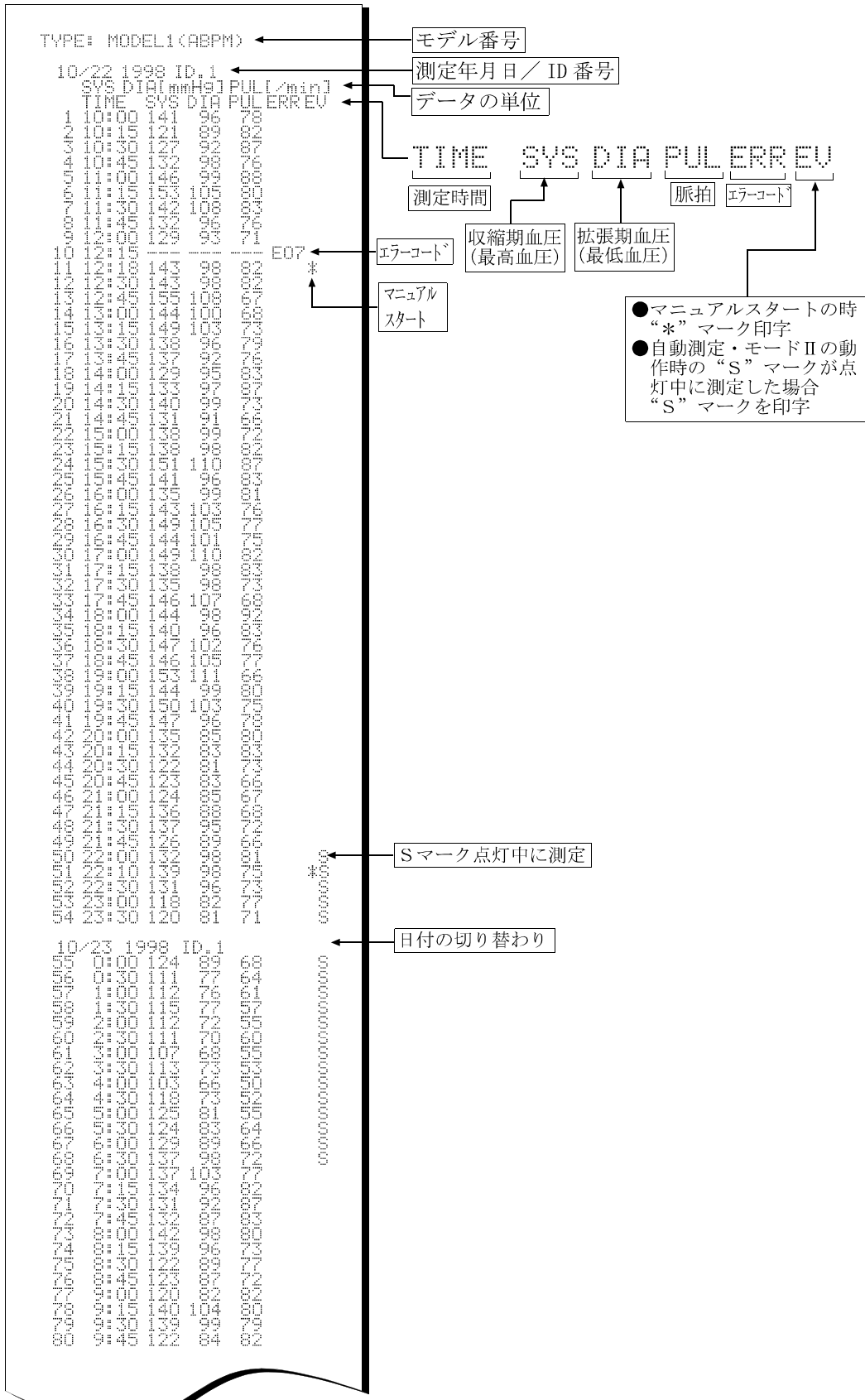
正面



側面

TM-2430シリーズ印字例の説明

テーブルデータ印字



統計データ印字

```

BLOCK1      0 TO 0 HOUR
            N= 79
SVS AVE=133 S.D.=12.0
DIA AVE= 93 S.D.=10.5
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SVS>140/120: 67.4[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 146.9[mmHg·h]

TOTAL(24H) 10 TO 10 HOUR
            N= 79
SVS AVE=133 S.D.=12.0
DIA AVE= 93 S.D.=10.5
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SVS>140/120: 67.4[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 146.9[mmHg·h]
ERR RATE   : 1.2[%]

AWAKE       7 TO 22 HOUR
            N= 60
SVS AVE=138 S.D.= 9.0
DIA AVE= 97 S.D.= 7.5
PUL AVE= 78 S.D.= 6.4
PRESSURE LOAD
SVS>140 : 34.8[mmHg·h]
DIA> 90 : 107.8[mmHg·h]

SLEEP      22 TO 7 HOUR
            N= 19
SVS AVE=120 S.D.=10.2
DIA AVE= 81 S.D.=10.5
PUL AVE= 64 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SVS> 120: 32.6[mmHg·h]
DIA>  80: 39.1[mmHg·h]
    
```

測定間隔ブロック毎に印字されます。
 (ただし、測定データを読み込んだ時、同時に
 測定間隔ブロックの情報を読み込みますので
 実際の測定時のブロックには依存しません。)

24時間の統計結果です。

起床時の統計結果です。

就床時の統計結果です。

```

BLOCK1      6 TO 18 HOUR
            N= 46
SVS AVE=137 S.D.= 8.6
DIA AVE= 97 S.D.= 6.6
PUL AVE= 78 S.D.= 6.0
PRESSURE LOAD
SVS>140/120: 37.9[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 102.7[mmHg·h]

BLOCK2     18 TO 22 HOUR
            N= 16
SVS AVE=138 S.D.=10.1
DIA AVE= 94 S.D.= 9.1
PUL AVE= 75 S.D.= 7.5
PRESSURE LOAD
SVS>140/120: 11.8[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 22.1[mmHg·h]

BLOCK3     22 TO 6 HOUR
            N= 17
SVS AVE=119 S.D.= 9.6
DIA AVE= 80 S.D.=10.1
PUL AVE= 63 S.D.= 9.6
PRESSURE LOAD
SVS>140/120: 17.6[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 22.1[mmHg·h]

TOTAL(24H) 10 TO 10 HOUR
            N= 79
SVS AVE=133 S.D.=12.0
DIA AVE= 93 S.D.=10.5
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SVS>140/120: 67.4[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 146.9[mmHg·h]
ERR RATE   : 1.2[%]

AWAKE       7 TO 22 HOUR
            N= 60
SVS AVE=138 S.D.= 9.0
DIA AVE= 97 S.D.= 7.5
PUL AVE= 78 S.D.= 6.4
PRESSURE LOAD
SVS>140 : 34.8[mmHg·h]
DIA> 90 : 107.8[mmHg·h]

SLEEP      22 TO 7 HOUR
            N= 19
SVS AVE=120 S.D.=10.2
DIA AVE= 81 S.D.=10.5
PUL AVE= 64 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SVS> 120: 32.6[mmHg·h]
DIA>  80: 39.1[mmHg·h]
    
```

上段の統計データと同じ元データを使用し、測定間隔
 のブロックだけ変更して印字した例です。

3ブロックに変更されました。

左図の例のように3ブロックに変更する方法を以下に示します。

●変更方法

※血圧計は接続状態にしておいてください。

①血圧計の測定間隔のブロックを変更します。
 (「5-2-5 測定間隔設定」参照)

② データ読込/プリント キーを押します。

TOTAL(24H)/AWAKE/SLEEPは上段の印字と
 同じ内容になります。

統計データ印字

```

BLOCK1 0 TO 0 HOUR
N= 79
SYS AVE=133 S.D.=12.7
DIA AVE= 93 S.D.=10.5
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SYS>140/120: 67.4[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 146.9[mmHg·h]

TOTAL<24H> 10 TO 10 HOUR
N= 79
SYS AVE=133 S.D.=12.7
DIA AVE= 93 S.D.=10.5
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SYS>140/120: 67.4[mmHg·h]
DIA> 90/ 80: 146.9[mmHg·h]
ERR RATE : 1.2[%]

AWAKE 7 TO 22 HOUR
N= 60
SYS AVE=138 S.D.= 9.0
DIA AVE= 97 S.D.= 7.5
PUL AVE= 78 S.D.= 6.4
PRESSURE LOAD
SYS>140 : 34.8[mmHg·h]
DIA> 90 : 107.8[mmHg·h]

SLEEP 22 TO 7 HOUR
N= 19
SYS AVE=120 S.D.=10.2
DIA AVE= 81 S.D.=10.5
PUL AVE= 64 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SYS> 120: 32.6[mmHg·h]
DIA> 80: 39.1[mmHg·h]
    
```

ブロックの時間帯

この時間帯の中のデータ個数

SYS/DIA/PUL の平均 (AVE) と標準偏差 (S.D.)

圧負荷 (PRESSURE LOAD)

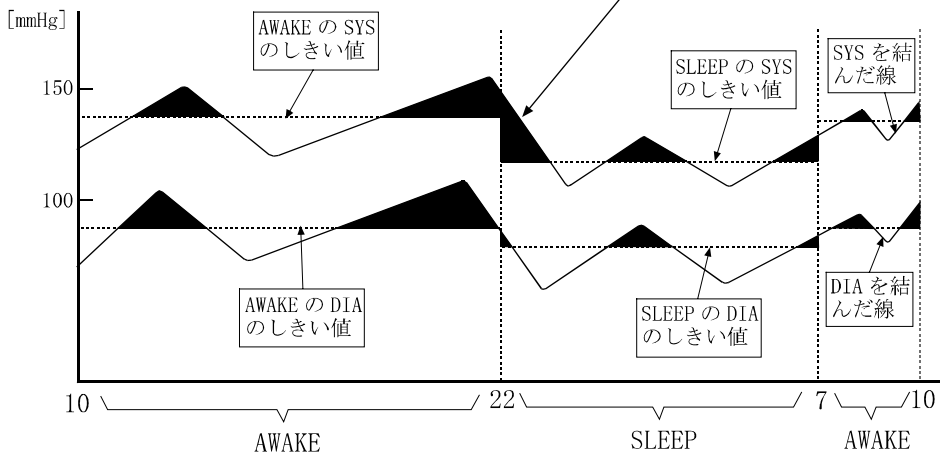
SYS>140/120: 67.4[mmHg·h]

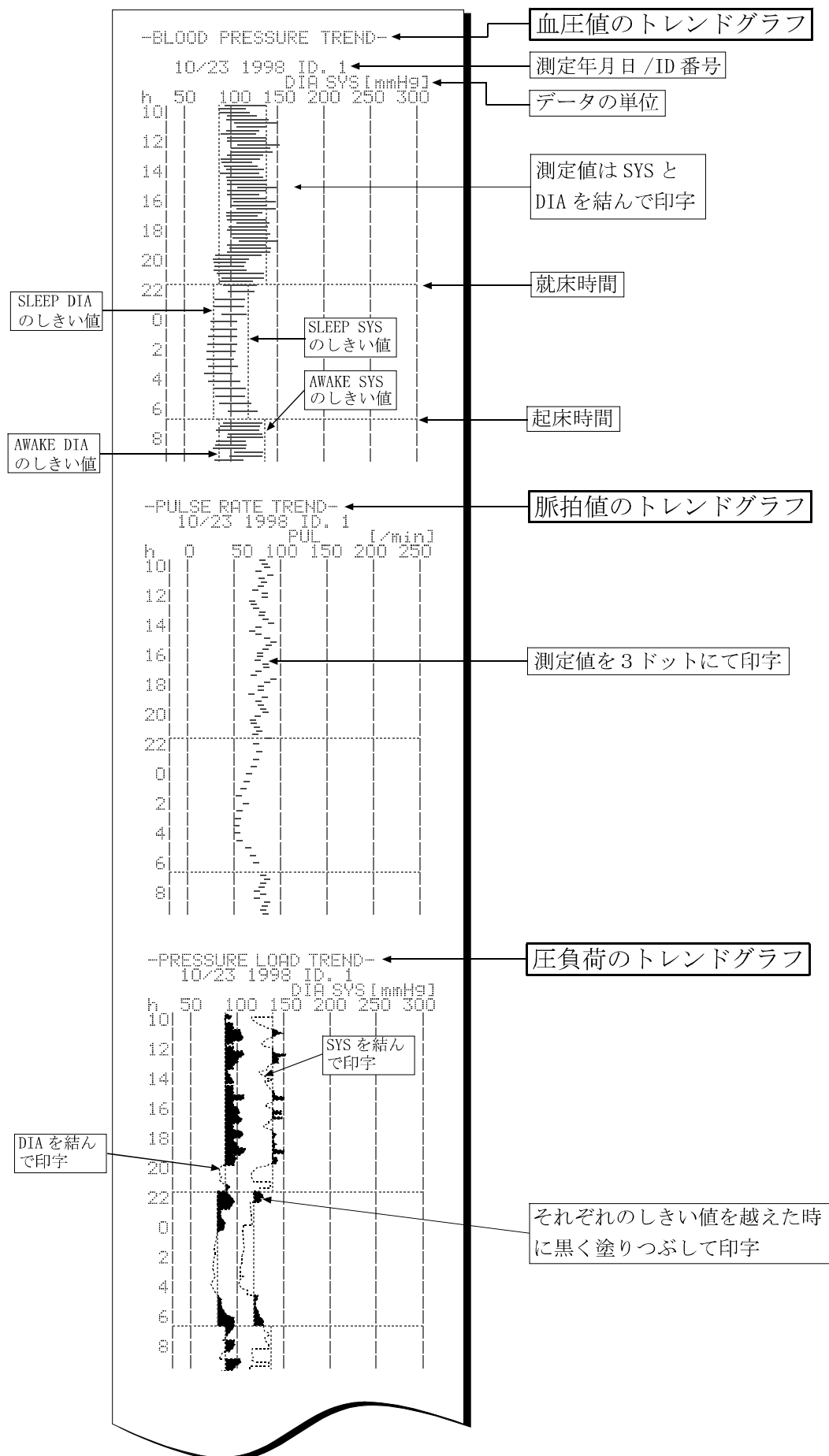
収縮期血圧の起床時のしきい値

収縮期血圧の就床時のしきい値

しきい値を越えていた面積の合計 (黒く塗りつぶした部分)

PRESSURE LOAD TREND





「設定内容 印字」をしたときの印字

血圧計の設定内容	TYPE: MODEL1 (ABPM) ←	モデル番号												
	10/22 1998 ID. 1 ←	血圧計の現在時刻												
	INTERVAL: MODE III ←	血圧計の現在設定されている自動測定モード												
	<table border="0"> <tr> <td>START</td> <td>STOP</td> <td>INTERVAL</td> </tr> <tr> <td>6 ----></td> <td>18</td> <td>30 MIN.</td> </tr> <tr> <td>18 ----></td> <td>22</td> <td>15 MIN.</td> </tr> <tr> <td>22 ----></td> <td>6</td> <td>60 MIN.</td> </tr> </table>	START	STOP	INTERVAL	6 ---->	18	30 MIN.	18 ---->	22	15 MIN.	22 ---->	6	60 MIN.	測定間隔ブロックの時間帯と測定間隔
	START	STOP	INTERVAL											
6 ---->	18	30 MIN.												
18 ---->	22	15 MIN.												
22 ---->	6	60 MIN.												
DISPLAY ON ←	表示機能の ON/OFF													
本機の設定内容	PRINT FORM 1 ←	レポート形式												
	TREND START TIME AUTO ←	トレンドグラフの開始時間												
	SLEEP TIME 24 ←	就床時間												
	AWAKE TIME 7 ←	起床時間												
	<table border="0"> <tr> <td>BP. LIMIT[mmHg]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SYS</td> <td>AWAKE</td> <td>SLEEP</td> </tr> <tr> <td>140</td> <td>90</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>DIA</td> <td></td> <td>80</td> </tr> </table>	BP. LIMIT[mmHg]			SYS	AWAKE	SLEEP	140	90	120	DIA		80	圧負荷のしきい値
BP. LIMIT[mmHg]														
SYS	AWAKE	SLEEP												
140	90	120												
DIA		80												

「時刻 / I D」の設定を終了したときの印字

TYPE: MODEL1 (ABPM) ←	モデル番号
1 DISPLAY ON	
2 I.D. NO. 1	
3 YEAR 1998	
4 MONTH 10	
5 DAY 22	
6 HOUR 10	
7 MINUTES 3	

「測定間隔」の設定を終了したときの印字

TYPE: MODEL1 (ABPM)																	
INTERVAL: MODE I ←	「自動測定モード I」の場合																
<table border="0"> <tr> <td>START</td> <td>STOP</td> <td>INTERVAL</td> </tr> <tr> <td>7 ----></td> <td>22</td> <td>15 MIN.</td> </tr> <tr> <td>22 ----></td> <td>7</td> <td>30 MIN.</td> </tr> </table>	START	STOP	INTERVAL	7 ---->	22	15 MIN.	22 ---->	7	30 MIN.	固定							
START	STOP	INTERVAL															
7 ---->	22	15 MIN.															
22 ---->	7	30 MIN.															
TYPE: MODEL1 (ABPM)																	
INTERVAL: MODE II ←	「自動測定モード II」の場合																
<table border="0"> <tr> <td>DURING</td> <td>INTERVAL</td> </tr> <tr> <td>[S]MARK OFF</td> <td>15 MIN.</td> </tr> <tr> <td>[S]MARK ON</td> <td>30 MIN.</td> </tr> </table>	DURING	INTERVAL	[S]MARK OFF	15 MIN.	[S]MARK ON	30 MIN.	固定										
DURING	INTERVAL																
[S]MARK OFF	15 MIN.																
[S]MARK ON	30 MIN.																
TYPE: MODEL1 (ABPM)																	
INTERVAL: MODE III ←	「自動測定モード III」の場合																
<table border="0"> <tr> <td>START</td> <td>STOP</td> <td>INTERVAL</td> </tr> <tr> <td>6 ----></td> <td>18</td> <td>30 MIN.</td> </tr> <tr> <td>18 ----></td> <td>22</td> <td>15 MIN.</td> </tr> <tr> <td>22 ----></td> <td>6</td> <td>60 MIN.</td> </tr> </table>	START	STOP	INTERVAL	6 ---->	18	30 MIN.	18 ---->	22	15 MIN.	22 ---->	6	60 MIN.	<table border="0"> <tr> <td>ブロック 1</td> <td rowspan="3">これは一例です。設定した内容が印字されます。</td> </tr> <tr> <td>ブロック 2</td> </tr> <tr> <td>ブロック 3</td> </tr> </table>	ブロック 1	これは一例です。設定した内容が印字されます。	ブロック 2	ブロック 3
START	STOP	INTERVAL															
6 ---->	18	30 MIN.															
18 ---->	22	15 MIN.															
22 ---->	6	60 MIN.															
ブロック 1	これは一例です。設定した内容が印字されます。																
ブロック 2																	
ブロック 3																	

UA PCシリーズ/UB PCシリーズ 印字例 (時間軸)

```

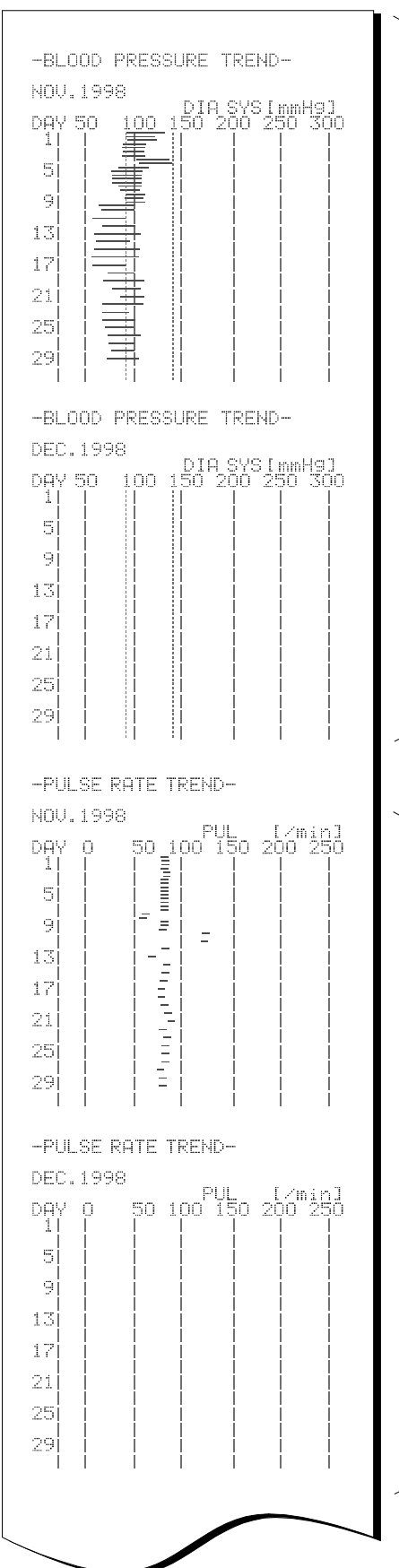
TYPE: MODEL2 (B CBPM)
1998
SYS DIA(mmHg) PUL(/min)
DATE TIME SYS DIA PUL
11/01 21:00 113 79 82
11/01 22:00 115 79 82
11/01 22:30 112 77 82
11/01 22:30 116 79 82
11/01 23:00 113 79 82
11/01 23:00 114 79 82
11/01 23:30 113 77 82
11/01 23:30 114 79 82
11/01 24:00 110 77 80
11/01 24:00 111 79 80
11/01 24:30 111 77 80
11/01 24:30 110 77 80
11/01 25:00 111 77 80
11/01 25:00 110 77 80
11/01 25:30 111 77 80
11/01 25:30 110 77 80
11/01 26:00 111 77 80
11/01 26:00 110 77 80
11/01 26:30 111 77 80
11/01 26:30 110 77 80
11/01 27:00 111 77 80
11/01 27:00 110 77 80
11/01 27:30 111 77 80
11/01 27:30 110 77 80
11/01 28:00 111 77 80
11/01 28:00 110 77 80
11/01 28:30 111 77 80
11/01 28:30 110 77 80
11/01 29:00 111 77 80
11/01 29:00 110 77 80
11/01 29:30 111 77 80
11/01 29:30 110 77 80
11/01 30:00 111 77 80
11/01 30:00 110 77 80
12/01 08:00 109
12/01 11:30 104
12/01 17:00 103
12/01 22:00 104
12/01 22:30 103
12/01 23:00 104
12/01 23:30 103
12/01 24:00 103
12/01 24:30 104
12/01 25:00 104
12/01 25:30 103
12/01 26:00 104
12/01 26:30 103
12/01 27:00 104
12/01 27:30 103
12/01 28:00 104
12/01 28:30 103
12/01 29:00 104
12/01 29:30 103
12/01 30:00 104
12/01 30:00 103

```


Month	Day	Time	SYS	DIA	PUL
NOV.	1998		N=		
			40		
			112	79	82
			D. = 12.1	D. = 15.8	D. = 19.7
			SYS >= 140	#N= 2 (5.0%)	
			DIA >= 90	#N= 9 (22.5%)	
DEC.	1998		N=		
			X		

			D. = ---	D. = ---	D. = ---
			SYS >= 140	#N= --- (---%)	
			DIA >= 90	#N= --- (---%)	
TOTAL			N=		
			40		
			112	79	82
			D. = 12.1	D. = 15.8	D. = 19.7
			SYS >= 140	#N= 2 (5.0%)	
			DIA >= 90	#N= 9 (22.5%)	

テーブル
(全データを印字します。)



血圧トレンド
(1ヶ月毎に連続して印字します。)

脈拍トレンド
(1ヶ月毎に連続して印字します。)

```

TYPE: MODEL2 (B CBPM)
1998
SYS DIA[mmHg] PUL[/min]
DATE TIME SVS DIA PUL
1 11/11/98 21:07:32 113 82 79
1 11/12/98 21:07:32 113 82 79
1 11/13/98 21:07:32 113 82 79
1 11/14/98 21:07:32 113 82 79
1 11/15/98 21:07:32 113 82 79
1 11/16/98 21:07:32 113 82 79
1 11/17/98 21:07:32 113 82 79
1 11/18/98 21:07:32 113 82 79
1 11/19/98 21:07:32 113 82 79
1 11/20/98 21:07:32 113 82 79
1 11/21/98 21:07:32 113 82 79
1 11/22/98 21:07:32 113 82 79
1 11/23/98 21:07:32 113 82 79
1 11/24/98 21:07:32 113 82 79
1 11/25/98 21:07:32 113 82 79
1 11/26/98 21:07:32 113 82 79
1 11/27/98 21:07:32 113 82 79
1 11/28/98 21:07:32 113 82 79
1 11/29/98 21:07:32 113 82 79
1 11/30/98 21:07:32 113 82 79
12/01/98 21:07:32 113 82 79
...
NOV. 1998 N= 40
SYS AVE=112 S.D.=12.1
DIA AVE=79 S.D.=15.8
PUL AVE=82 S.D.=19.7
SYS>=140 :N= 2 ( 5.0%)
DIA>=90 :N= 9 ( 22.5%)

DEC. 1998 N= X
SYS AVE= - S.D.= -
DIA AVE= - S.D.= -
PUL AVE= - S.D.= -
SYS>=140 :N= - ( -%)
DIA>=90 :N= - ( -%)

TOTAL N= 40
SYS AVE=112 S.D.=12.1
DIA AVE=79 S.D.=15.8
PUL AVE=82 S.D.=19.7
SYS>=140 :N= 2 ( 5.0%)
DIA>=90 :N= 9 ( 22.5%)

```

モデル番号

測定年

データの単位

DATE

測定月日

TIME

測定時間

SYS

収縮期血圧
(最高血圧)

DIA

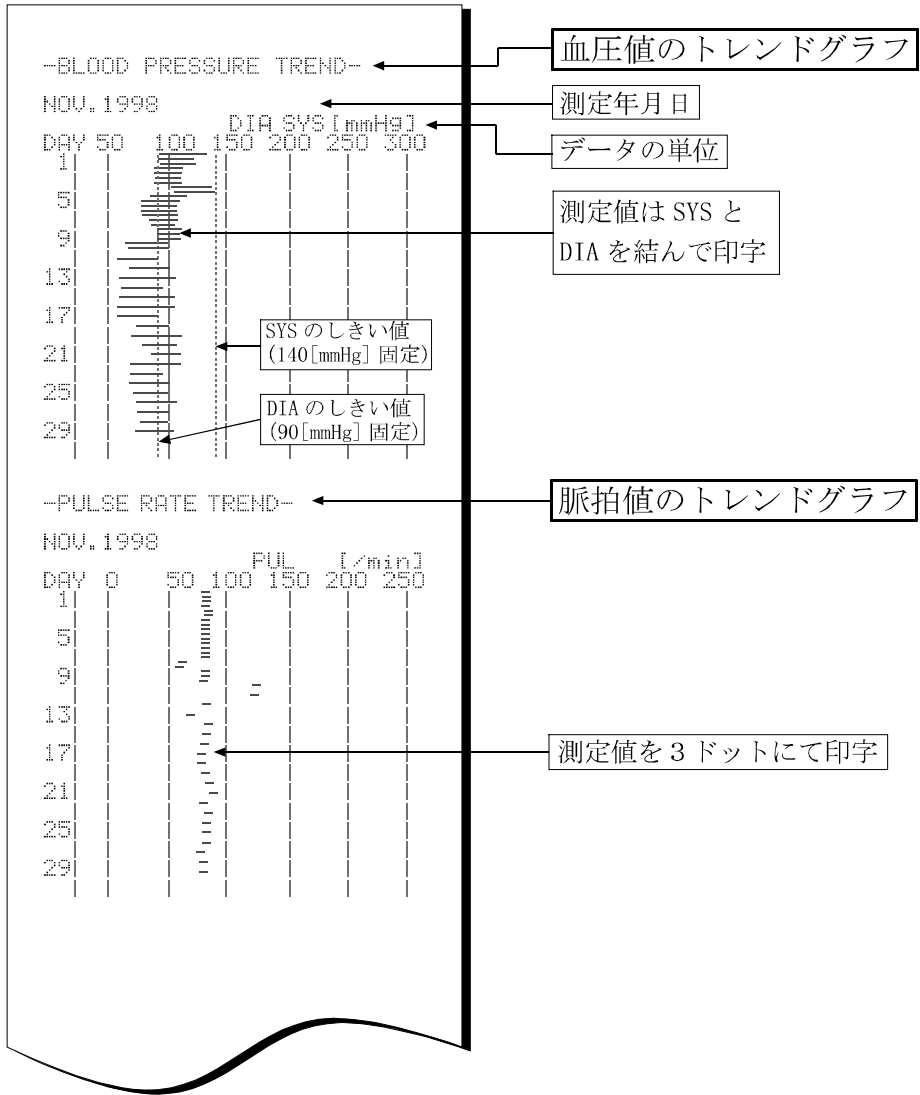
拡張期血圧
(最低血圧)

PUL

脈拍

1ヶ月毎の統計結果です。

全データの統計結果です。



血圧値のトレンドグラフ

測定年月日

データの単位

測定値は SYS と DIA を結んで印字

脈拍値のトレンドグラフ

測定値を 3 ドットにて印字

「測定時刻アラーム」の設定を終了した時の印字

TYPE: MODEL2 (B CBPM)

MEASUREMENT TIME

1	10:00
2	12:30
3	16:00
4	20:00
5	24:00
6	6:30

「時刻」の設定を終了した時の印字

TYPE: MODEL2 (B CBPM)

5	YEAR	1998
6	MONTH	11
7	DAY	13
8	HOUR	16
9	MINUTES	13

UA PC シリーズ

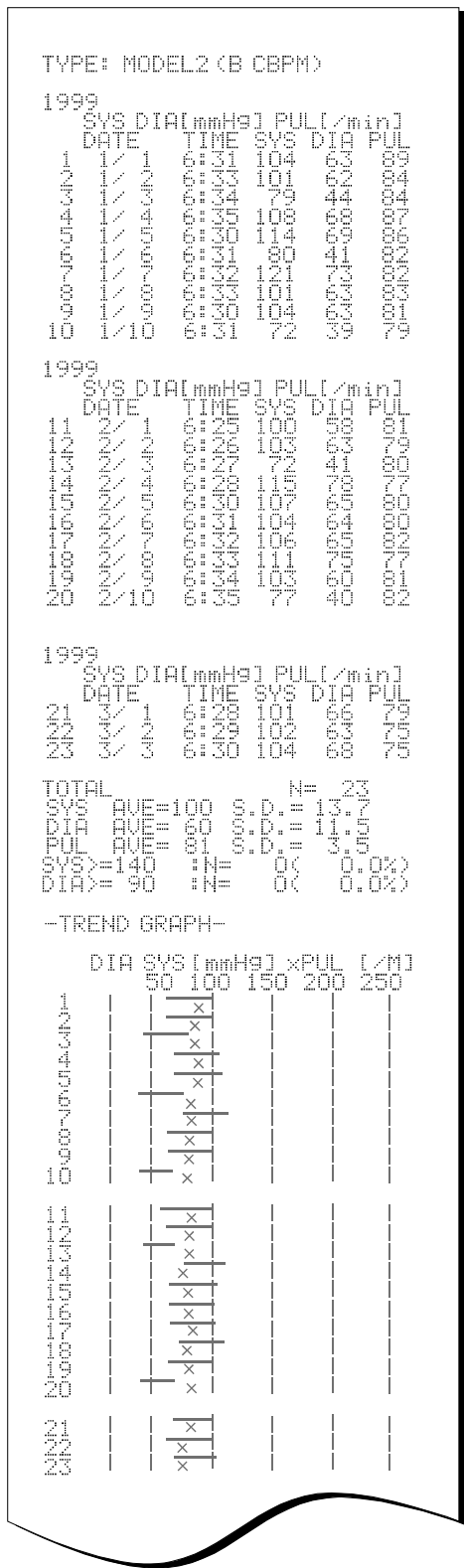
モデル番号

測定時刻アラーム

血圧計の現在時刻

UA PCシリーズ/UB PCシリーズ 印字例 (非時間軸)

3ヶ月間に渡るデータを一括処理します。



テーブル

(全データを
印字します。)

血圧データは
SYS と DIA を
結んで印字

脈拍データは
並んで印字

血圧・脈拍トレンド

- データの No. 1 から順にプロットされます。
- 血圧データは、SYS と DIA を結んで印字されます。
- 脈拍データは、×印で並んで印字されます。